

授業名	宗教学的人間論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎福島 寅太郎			
開講期				
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 ①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。 ②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。 〔授業の概要〕 本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。 宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。 本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。 本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。 福祉コースの受講者には、①福祉の理念を理解し、人権、尊厳の保持や権利擁護の視点および専門職としての基盤となる倫理観を養い、②人間にとつての自立の意味と、本人主体の観点から尊厳の保持や自己決定の考え方を理解する内容としている。 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。 位置づけ・水準: GU1101			
授業の到達目標	〔到達目標〕 ①宗教学的“ものの見方”を理解する。 ②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。 ③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。 ④福祉コースの受講者には、人間の理解を基礎として、尊厳の保持と自立について理解し、介護福祉の倫理的課題への対応能力の基礎を身につけさせる。 単位認定の最低基準は:は「内容の7割以上を理解していること」 DPとの関係:個の確立、人間形成			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	試験成績60点、授業における発表20％、授業における参加態度20％など。理解度8割で、合とする。	
テキスト	特に指定していないが、必要に応じて、途中から指定する場合がある。その場合は事前に知らせる。			
参考書	特になし。			
学生への要望	ノートをこまめにとること。			
位置付け・水準				
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。	1回目に当たり、とくになし。	90
2	生活と宗教（１）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしながら、生活における禅の役割を考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
3	生活と宗教（２）～今どうして禅なのか～	前回の続き。禅とは何かを、身近な話題を通して考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	生活と宗教（３）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。配布予定のプリントを通して学びながら、一緒に考えてみる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
5	生活と宗教（４）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがあろう。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
6	生活と宗教（５）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
7	生活と宗教（６）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
8	生活と宗教（７）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
9	生活と宗教（８）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、配布予定のプリントを通して理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
10	生活と宗教（９）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
11	生活と宗教（１０）～特別授業～	前回の続き。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
12	生活と宗教（１１）～生活と宗教との関わり～その一	「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という言葉の意味を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
13	生活と宗教（１２）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。人間らしく生きるためにはどうしたらいいか、人間の本質とは何かについて配布プリントを参考にしながら、考えてみる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
14	生活と宗教（１３）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
15	最終回～まとめ～その②	授業の内容を踏まえつつ、建学精神である「尊敬・責任、自由」の意義を再び考えることにする。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5

授業名	哲学的人間論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎野口 周一			
開講期				
授業の概要	本講義のねらいは、教育哲学者・松田高志氏の『いのち輝く子ら』を読み込みながら、教育観のあり方を考えていくところにあります。特に焦点をあてるところは、「教育とは子どもを社会に適応させること、あるいは子どもがそうなるように手助けすること」という考えは、この社会においては常識であるでしょう。しかし、教育ははたしてそのように限定されたものでしょうか。本講義では、教育とは何か、子どもとはどういうものか、人間とはどういうものか、について考えていきます。 課題に対するフィードバックは授業時及び試験終了後に行う。			
授業の到達目標	1、受講者は、狭い「教育観」と広い「教育観」の違いを考えることにより、子どもたちの成長と私たちの人間的成長をともに理解することができること。 2、上記の点を考えながら、自分の人間としての生き方やあり方について、自分なりの回答をえることができること。 単位認定の最低基準は70％である。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	毎回、調べるべき課題が出てきます。それらを一つひとつ消化しながら、理解を深めます。その際、グループ学習で行うこともあります。その課題の評価を80％とします。最終課題についてはレポートを作成し、発表し、討論をしていただきます。その評価を20％とします。	
テキスト	松田高志著『いのち輝く子ら』（NPO法人くだけ会）を使用します。			
参考書	その都度、明示します。			
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を望みます。			
位置付け・水準	GU1102			
ディプロマポリシーとの関係	冒頭の「人間を護り、人間生活の向上と社会の発展を目指し、生活・福祉・建築のそれぞれの専門分野で、人文・社会・自然にわたる基礎的知識を総合的に用いつつ」という点を、特に重視する。			
オフィスタイム	火曜・水曜のお昼休み。教職課程推進室。			
アクティブラーニング実施内容	テキストを講読しつつ（指名して音読する）、問題点については、その都度調べ、学習する。			
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス 子どもとは何か（1）	授業の進め方、グループ別討議の仕方などを説明します。 神の最高の啓示とは、無邪気さの世界、について考えます。	予習・復習	40
2	子どもとは何か（2）	貝殻や石ころ、刺戟控えめ、お古のスリッパについて考えます。	予習・復習	40
3	子どもとは何か（3）	矛盾のまま、神聖な謎、について考えます。	予習・復習	40
4	教育の本筋（1）	自然の恵み、笑顔と無邪気な没頭、について考えます。	予習・復習	40
5	教育の本筋（2）	子どもの生きる場、親の醸し出す雰囲気、について考えます。	予習・復習	40
6	教育の本筋（3）	学校の選択、平和の道、について考えます。	予習・復習	40
7	学びの世界（1）	同じでないと、喜ばしき驚き、について考えます。	予習・復習	40
8	学びの世界(2)	胸ふくらませて、意・情・知、について考えます。	予習・復習	40
9	学びの世界(3)	幸せな知、心の眼、について考えます。	予習・復習	40
10	学びへのサポート（1）	勇気づけ、期待と信頼、について考えます。	予習・復習	40
11	学びへのサポート（2）	勇気づけ、期待と信頼、について考えます。	予習・復習	40
12	学びへのサポート（3）	未完の神器、成長を信じ味わう、について考えます。	予習・復習	40

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	子ども・大人・生涯の学び (1)	いのちのシャワー、魅力ある人、について考えます。	予習・復習	40
14	子ども・大人・生涯の学び (2)	にもかかわらず、魅力ある人、について考えます。	予習・復習	40
15	子ども・大人・生涯の学び (3)	「どこへ行く」、生涯の学びに、ついて考えます。 予習・復習		40

授業名	倫理学的人間論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎野口 周一			
開講期				
授業の概要	本講義のねらいは、私たちが日常生活で、「この行為はまちがっているのではないか」と疑問に思い、「正しい行為とは何か」と考えてみることにあります。このたびは、中国の『論語』を素材に考えていくことにします。然しながら、『論語』は約2500年も前の孔子とその弟子の対話集であります。その時間の隔たりを、下村湖人は『論語物語』を著すことによって埋めたと考えられるのです。このたびは、まず孔子の生涯をたどり、次に日本における『論語』の受容を考え、然る後に『論語物語』を読み解くことによって本講義のテーマを考えていきます。 課題に対するフィードバックは授業時に行う。			
授業の到達目標	1 受講者は何が善であり何が悪であるか、何が良くて何が悪いか、何が正しくて何が間違いか、などを意識的に考えることができる。 2 受講者はこの講義を通じて「個の確立」と「人間形成」が図られることが期待できる。 単位認定の最低基準は70％である。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	本講義の中心は『論語物語』を読み解くところにある。個人、あるいはグループ単位で読み込み、その後発表しつつ、討議をしていきたい。ここに80％の比重をおく。残りの20％は最終課題の評価としたい	
テキスト	下村湖人著『論語物語』（河出文庫）を使用する。			
参考書	その都度、明示する。			
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を望む。			
位置付け・水準	GU1103			
ディプロマポリシーとの関係	冒頭の「人間を護り、人間生活の向上と社会の発展をめざし」、「人文・社会・自然にわたる基礎的知識を総合的に用いつつ」という点を、特に重視する。			
オフィスタイム	火曜・水曜のお昼休み。教職課程推進室。			
アクティブラーニング実施内容	テキストを講読しつつ（指名して音読する）、問題点については、その都度調べることでより学習する。			
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス	授業の進め方、グループ別討議の仕方などを説明する。	予習・復習	90
2	倫理とは何か	倫理と道徳の違い、倫理の定義、倫理学で大切なこと、等を扱う。	予習・復習	90
3	孔子の生涯	孔子の生涯について講義する。	予習・復習	90
4	『論語』の受容（1）	現代日本では『論語』はどのように評価されているか、考える。	予習・復習	90
5	『論語物語』を読み解く（1）	「富める子貢」から「伯牛疾あり」までを読み込む。	予習・復習	90
6	『論語物語』を読み解く（2）	「志を言う」から「自らを限る者」までを読み込む。	予習・復習	90
7	『論語物語』を読み解く（3）	「宰予の昼寝」から「大廟に入りて」までを読み込む。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	90
8	『論語物語』を読み解く（4）	「豚を贈られた孔子」から「楽長と孔子の眼」までを読み込む。	予習・復習	90
9	『論語物語』を読み解く（5）	「犁牛の子」から「天の木鐸」までを読み込む。	予習・復習	90
10	『論語物語』を読み解く（6）	「馨を撃つ孔子」から「匡の変」までを読み込む。	予習・復習	90
11	『論語物語』を読み解く（7）	「司馬牛の悩み」から「渡場」までを読み込む。	予習・復習	90
12	『論語物語』を読み解く（8）	「陳蔡の野」から「一以て貫く」までを読み込む。	予習・復習	90
13	『論語物語』を読み解く（9）	「行蔵の弁」から「泰山に立ちて」を読み込む。	予習・復習	90
14	『論語物語』を読み解く（10）	下村湖人著『人生随想』に「孔子の生活原理」が収録されている。これを読み込み名が討議を行う。	予習・復習	90
15	授業の総括	講義全体の振り返り、各自の感想を述べる。	予習・復習	90

授業名	心理学的人間論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎折笠 国康			
開講期				
授業の概要	本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。最終授業で全体に対するフィードバックを行う。 位置づけ・水準 GU1104 【履修カルテの評価項目】 ①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。			
授業の到達目標	本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。 単位認定の最低基準は、：「内容の7割を理解していること」 ディプロマ・ポリシーとの関係：個の確立、人間形成 【履修カルテの評価項目】 ①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。			
履修条件	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 家政学部 食物栄養学	成績の 評価方法・基準		内容の「70%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%，試験70%で行う。
テキスト	特に指定はない。授業中に資料を配布することがある。			
参考書	必要に応じて紹介する。			
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。			
位置付け・水準	GU1104			
ディプロマポリシーとの関係	個の確立、人間形成			
オフィスタイム	金曜 1， 2 限 835			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション、心理学とは	この授業の目的と授業方針を理解する。心理学的な思考や考察が果たす役割を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
2	人間の発達(1) ー発達心理学ー	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	自己とは(7) 自己受容	C.ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
10	自己とは(8) 防衛機制	A.フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
15	本講義のまとめ	試験を実施し、本講義の振り返りを通して心理学的な人間論を復習する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60

授業名	生物学の人間論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎諏訪 雅貴			
開講期	後期			
授業の概要	ヒトは、多くの生物の中の1種であり、哺乳類の中の1種ですが、その一方で、ヒトは自ら野生から離れてコミュニティを形成し、社会を発展させ、文化的な生活を送るようになりました。その結果、他の野生動物とは異なる変化が起きてきました。この進化は、飼育下の動物、つまり、家畜、ペット、動物園の動物の変化と類似していることから、「自己家畜化」と呼ばれることがあります。 本講義では、まず、野生動物が家畜化されていく過程を学びます。次に、ヒト特有の変化である「自己家畜化」の観点から、ヒトが作った生活環境に適応した人間（現代人）の生物学的特徴と社会的な意味を考えていきます。 レポート課題はフィードバックするので、復習に活用してください。			
授業の到達目標	現代社会で生きていく上での生物としてのヒトの特徴を知り、その対処法を自ら考えることができるようになることが、この授業の目標です。60点以上で単位を認定します。			
履修条件	なし	成績の 評価方法・基準	毎回の授業で小レポートを課す（合計100点満点）。	
テキスト	なし（授業ごとにプリントを配布）			
参考書	授業内で紹介します。			
学生への要望	授業中に、アンケート等をする事、学生同士で意見交換をする事、簡単な体操をする事などがありますので、積極的に取り組んでください。			
位置付け・水準	水準 GU1105			
ディプロマポリシーとの関係	個の確立、人間形成			
オフィスタイム	月曜日の1・2・5限目、水曜日の1・2限目 担当教員研究室（家政学館3階 生理学・食品衛生学研究室）			
アクティブラーニング実施内容	姿勢評価など自身の身体状況を共同を行うことがあります。			
実務家教員の経歴	実務経験：企業にて、運動指導、体力づくり活動を活動を行った経験をもとに講義します。 実務経歴：企業の医務職運動トレーナーとして勤務			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンスおよび自己家畜化について	本講義全体の概要についてまず説明します。 「自己家畜化」は、野生から切り離されたヒトの生物学的な特徴であり、現代社会の健康問題と関連しています。現代社会の便利さとその心身への影響にどのようなものがあるかを考えてみます。また、ヒトを攻撃したり、ヒトを恐れて逃走していた野生動物がヒトに近づき、共生し、家畜となっていった生物の例を紹介します。	昔（例えば、縄文時代）と現代の暮らしを比較してみましょう。その便利さと心身に及ぼす影響を考えてみてください	30
2	形態の変化（1）	飼育下の動物（家畜、ペット、動物園の動物）は、野生動物よりも体重が重いです。これを、現代人と昔の人に当てはめて考えてみます。	なぜ、家畜は野生動物よりも体重が重いのか、理由を考えましょう。	30
3	形態の変化（2）	ヒトや家畜の体重が増加する原因を予測し、その確認方法と結果の見方を学びます。また、これを自分の生活に当てはめて考えます。一方で、「痩せ」というさらに進化した自己家畜化も生じています。これらの状態について、男女の意識の差や加齢の影響も含めて学びます。	自分の身体組成の現状と理想とのギャップについて、考えてみましょう。	30
4	二足歩行の仮説	哺乳類、霊長類の中で、ヒトだけが常に二足で直立歩行します。樹上生活を送っていたヒトの祖先が地上に降りて直立歩行を始めた理由と、ヒトの進化の意味を考えてみます。	ヒトの二足歩行の仮説について、調べてみましょう。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	姿勢の変化	野生から隔離された現代社会で生活していくうち、立ち方、座り方、姿勢といった体重以外の形態にも変化が起きます。これらは、外見の良し悪しの問題だけではなく、心身に影響を及ぼすことがあります。自分の現状を把握し、対処方法を学びましょう。	普段の立ち方、座り方と現代社会の生活の因果関係について考えてみましょう。	30
6	長寿化（１）	飼育下の動物は、野生動物の２倍以上も長生きすることがあります。ヒトでも同様に平均寿命は延び続けています。長寿化の社会的背景と意味について考えていきます。長寿化には老化が伴います。野生動物には見られない老化現象のうち、筋骨格系の変化と社会生活との関係についてについて学びます。	「老化」と「加齢」はどう違うのか、まとめておいてください。	30
7	長寿化（２）	老化のうち、脳神経系の老化と社会のかかわりについて学びます。 また、老化予防や寿命の伸展について学び、ヒトと動物での違いについても考えてみます。	老化現象について授業で学んだことをまとめ、さらに授業内容以外の老化についても調べましょう。	30
8	長寿化（３）	動物実験などから、寿命を延ばすことができる可能性がある方法がいくつか示されています。これらについて、概説します。	授業の内容以外でも、長寿化につながるような方法があるか調べてみましょう。	30
9	長寿化（４）	生物は、本来はいつか死ぬ運命にありますが、もし、「不死」であったらどうなるでしょうか？「生や健康」の反対である「死や病氣」を知ることで、生の意味を考えてみます。	講義の前後で、自分にとっての長寿や死についての意識をまとめてみましょう。	30
10	立たない・歩かない・虚弱化	野生動物は生命を維持するために移動しなければなりません。が、家畜は移動しなくても生き続けることができます。ヒトも、昔に比べて動かなくなっています。このことの意味について考えます。また、家畜は、野生動物ではみられない病気になるったり、体力が低かったりします。これらの現象は、現代人にもみられます。現代社会のシステムに伴う進化としての虚弱化と対処を考えます。	自分の生活習慣の中で、虚弱化の原因となっているものがないか、考えてみましょう。	30
11	サーカディアンリズムの乱れ	地球は、24時間周期で自転しており、野生動物はその周期に近いリズム（サーカディアンリズム）で行動しています。一方、現代人は、自己家畜化によりサーカディアンリズムに逆らった行動を行い、心身の変化が起きることがあるので、このことについて考えます。	自分の生活習慣とサーカディアンリズムにの関係を考えましょう。	30
12	性成熟・性行動の変化、異常行動	家畜化された動物は、性成熟が早く、野生動物とは異なる性行動を行うことがあります。また、野生動物には見られない異常行動をおこすことがあります。現代人でも、家畜化された動物と類似した現象がみられ、犯罪にもつながっていることについて学びます。	人間は犯罪を犯すことがあります。過密状態で管理された現代社会特有の犯罪にどのようなものがあるか、考えてみましょう。	30
13	嗜好品の利用	嗜好品は、生命の維持には不要であるため、野生動物は利用しませんが、ヒトは利用します。いくつかの嗜好品について、なぜヒトがそれらを利用するのか、意見を出し合い理由を考えてみます。	ヒトがなぜ嗜好品を利用するのか、j自分はどのように嗜好品と付き合っていけばいいか、自分の考えをまとめておいてください。	30
14	社会ストレスと心身一如	動物は生命の危機を感じると、ストレス反応により対処し、生命の維持を行おうとします。一方、現代人は、社会ストレスに対してもストレス反応が起き、この状態が継続すると疾病の原因となることもあります。現代社会におけるストレスの意味について、確認します。	「ストレス」という言葉を正しく理解できるように調べておきましょう。	30
15	ヒトや社会の進化と健康意識	本講義の全体のまとめとして、社会が進化していくにつれて、疾病構造や人間の健康意識も変化していき、あいまいな不安を抱えながら生活している人が増えています。この社会のなかで、個々がどのように対処していけばよいのかについて考えます。	自分がどのような健康意識を持っているのか、あるいは、健康意識を持っていないのか、考えてみましょう。	30

授業名	教育原理Ⅰ	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 必修	
担当教員名	◎野口 周一 山本 裕詞			
開講期				
授業の概要	本授業は共通基礎科目であると同時に、教職課程必修科目のうちのもっとも基本となる科目である。受講生は、これまでほぼ無意識に教育を受けてきた立場から転じて、今後は人間の発達や知育や徳育の問題について教育思想や教育法制度、教育行政の理解をすることで、教育について客観的視点から学習するようになる。その場合、学校教育の在り方をとくに深く考察し、教職という職責の意義と責任について自覚を高めていく。 こうして、教育に対する上記の視点の転換によって、教育の原理・本質を、歴史的考察と合わせて、国際比較の観点からも幅広く理解できるようになるであろう。さらに受講生は、教員として求められる実践的教養を身につけていくことが求められる。とりわけ、教育法規、教育課程、教育行政については具体的に正確に理解し、学校教育の骨格について理解を深めると同時に、教育や子どもを取り巻く時事問題へも精通するようになり、教職に対する前向きなスタンスをを培うようにする。 また、授業後半で実施する小テスト、小レポートは、添削し、次回授業冒頭で個々人へ返却・解説を通じてフィードバックする。 尚、本科目の担当教員である山本は、中等教育における教員経験者として配置されている。実践と理論の往還の中で、当該授業は進められていく。			
授業の到達目標	<履修カルテの評価項目：到達目標> ①教育の目的とは何かについて考察をするが、その場合、教育基本法上の規定のみならず、歴史的練磨を経てきた教育の古典的思想や子ども観、発達観、学習観の理論に触れて、人間の成長についてアプローチができること。 ②自己体験からだけでなく、社会的・行政的、制度的角度から教育について理解することができるようになっていること。 ③学校・学級に関するさまざまな話題について、問題意識を高め、図書館にも出向き、自ら資料を通して分析することができるようになっていること。 ④マスコミで話題になる学校教育や子どもの問題について、表面的にではなく、原理的に考察できるようになっていること。 これら四つの学修によって、ディプロマ・ポリシーに掲げられている「知識・理解」、「倫理観・社会的責任」、「総合的学習経験・創造的思考力」が培われる。また、単位認定の最低基準は、これら四つの項目の7割程度理解し、活用できることである。			
履修条件	家政学部 生活科学科 社会福祉専攻 2年 2単位 選択 家政学部 生活科学科 建築デザイン専攻 2年 2単位 選択 家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択 家政学部1年生 2単位 選択	成績の 評価方法・基準	①授業中に数回レポートを課し、次回の授業で確認を行う。レポートの評価と発表・意見交換などで50点とする。 ②学期末のレポートまとめて50点。この2つの総合点が100点とする。	
テキスト	毎回の授業時にその日の講義内容を詳述した特製レジュメを配布する。それらを順序良くノートやファイルに綴じて毎回の授業に持参し、復習にも用いること。試験前にはそれら配布資料をしっかりと再読すること。 尚、教科書は、田嶋・中野他著『やさしい教育原理 第3版』（有斐閣アルマ、2020年）を使用する。			
参考書	授業の中で、必要に応じて紹介していく。			
学生への要望	講義形式を大切にしながら、同時に提出レポートを活用した発表や、教育的テーマをめぐる意見交換のアクティブな形式を導入することで、教育問題への主体的考察を習慣づける。したがって、受講生には、教科書を中心としながら、下調べ的な学習を求める。 教育の原理となっている教育思想や教育行政には、歴史的系譜というものがあり、先ずはそれを理解することが必要である。各思想間には相違や見方の対立があるので、その対立構造や文脈を学ぶことで、主要な教育思想や特徴を把握していくならば、歴史的に知られている教育思想を生き生きと理解することができる。			
位置付け・水準	1年：GU1123 2年：TP9101			
ディプロマポリシーとの関係	「授業の到達目標」に記載している。			
オフィスタイム	野口：時間割発表後に知らせる。 山本：時間割発表後に知らせる。			
アクティブラーニング実施内容	講義形式を大切にしながら、同時に提出レポートを活用した発表や、教育的テーマをめぐる意見交換のアクティブな形式を導入することで、教育問題への主体的考察を習慣づける。したがって、受講生には下調べ的な学習を求める。			
実務家教員の経歴	山本：「授業の概要」欄参照。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	1. 人間への問いと教育への問い 野口	受講生の皆さんと一緒に次のテーマについて考える。 1 「人間とは何か」 2 ルソーの『エミール』と「子どもの発見」	予習・復習	90
2	2. 教育とは何か2 野口	1. 発達への助成的介入 2. 教育と教化と形成	予習・復習	90
3	3. こころとからだを育てる 野口	1. こころとからだを育てる計画 2. 学力とは何か	予習・復習	90
4	4. こころとからだを育てる 2 野口	1. 身体文化と教育 2. 道徳性の発達と教育 3. 教育における言葉と文化	予習・復習	90
5	5. よりよく学び、教えるために 野口	1. 学習することの意味 2. 授業を改革するために 3. 学校教育の可能性	予習・復習	90
6	6. 教師の仕事 野口	1. 教師とは何か 2. 教師の力量とは何か 3. 授業をつくる教師	予習・復習	90
7	7. 青年期と教育 野口	1. 青年とは何か 2. 現代の青年と社会参加 3. 青年期の課題と教育	予習・復習	90
8	8. 教育法規の体系 山本	1. 日本国憲法 2. 子どもの権利条約 3. 教育基本法 4. 学校教育法・同施行規則 法の形式的効力の原理と、制度規範としての教育法の基礎を学びます。	予習・復習	90
9	9. 日本の教育制度と行政 山本	1. 学校教育制度 2. 社会教育・生涯学習制度 3. 教育行政システム 日本の教育制度と行政を総覧した上で、教育行政の一般行政からの相対的独立の意義を考えます。	予習・復習	90
10	10. 学校とは何か 山本	1. 学校の登場 2. 近代学校の性格 学習権保障の内実を考察の中心に据えながら、国家・社会的見地からの学校体系の設計について検討します。	予習・復習；レポート作成と整理	90
11	11. 学校とは何か 2 山本	1. 近代以前の日本の学校 2. 日本の「近代化」と学校教育 3. 新たな出発、その後の展開	予習・復習	90
12	12. 生涯学習社会 山本	1. 戦後の社会教育制度 2. 生涯学習への移行 3. 地球市民という生き方 生涯学習社会への移行を理解するために、コンドルセにみる理念的誕生と、その後の制度の推移を確認する。その上で、人間化へ向かう生涯学習と社会適応（資本適応）に向かう二つのベクトルがあることを理解し、我が国における「生涯学習社会」の実態を評価する。	予習・復習	90
13	13. 日本社会が抱える教育に関する病理（1） 山本	1. 「いじめ」研究による「いじめ」解釈 2. 群生秩序と普遍秩序 3. 校則を考える 個性と社会性の双方の成長を考えたとき、目指すべき集団指導の在り方を考えていく。	予習・復習	90
14	14. 日本社会が抱える教育に関する病理（2） 山本	1. 「教育病理」の理論と制度的対応の限界 2. 子どもの最善の利益とは 「教育病理」概念についての理解を深め、それに対する制度的対応を確認することを通して、公教育に内在する原理的課題について考察する。	予習・復習	90
15	15. 授業のまとめと確認テスト 野口、山本	授業のまとめと確認を行う。	予習・復習	90

授業名	教育心理	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎折笠 国康			
開講期				
授業の概要	教育心理学は、教育活動をより効果的に行うための心理学的な知見や技術を提供する学問である。本科目を通して、より効果的な教育実践が可能となる教育に関する心理学的な知識や方法を理解することを目標とする。最終授業で全体に対するフィードバックを行う。 位置づけ・水準 GU1124			
授業の到達目標	①認知や感情などの「心の発達」に関する基本概念をどの程度理解できたか。 ②「自己」に関する基本概念をどの程度理解できたか。 ③近年の教育現場で問題となっている事柄をどの程度理解できたか。 単位認定の最低基準は、：「内容の7割を理解していること」 ディプロマ・ポリシーとの関連：知識・理解、問題解決力、総合的な学習経験、創造的思考力			
履修条件	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 家政学部 食物栄養学科 2年	成績の 評価方法・基準	授業内容の「70％程度」の理解が必要。理解度の評価は、授業の参加の様子やアクションシート30％、試験70％で行う。	
テキスト	特に指定はない。			
参考書	講義の中で、適宜紹介する。			
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。			
位置付け・水準	GU1124			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、問題解決力、総合的な学習経験、創造的思考力			
オフィスタイム	金曜1, 2限 835			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション、教育心理学とは	この授業の目的と授業方針を理解する。心理学的な思考や考察が果たす役割を理解する。 認知心理学の基礎を学び、認知に対する認識について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
2	自己に関わる心理学（1）	アイデンティティ、自己評価、自尊感情の概念を理解し、自己を心理学的に理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
3	自己に関わる心理学（2）	アイデンティティ、自己評価、自尊感情の概念を理解し、自己を心理学的に理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
4	自己に関わる心理学（3）	本当の自尊感情、本当の自分について心理学的に理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
5	記憶と思考（1）	人間の記憶と思考のメカニズムについて理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
6	記憶と思考（2）	人間の記憶と思考のメカニズムについて理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
7	動機づけの心理学（1）	人間の動機づけについての知見を概観し、動機づけを心理学的に理解する。 内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
8	動機づけの心理学（2）	人間の動機づけについての知見を概観し、動機づけを心理学的に理解する。 内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
9	学級の心理学（1）	理想の学級の姿や学級の機能、全国的な学級の様子や課題について理解する。 学級アセスメントについて理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
10	学級の心理学（2）	理想の学級の姿や学級の機能、全国的な学級の様子や課題について理解する。 学級アセスメントについて理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	学級の心理学（3）	理想の学級の姿や学級の機能、全国的な学級の様子や課題について理解する。 学級アセスメントについて理解する。 アクティブラーニングと学級集団の関係を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
12	勇気と勇気づけの心理学	自主自立の姿の達成、人生を主体的に生きるために必要な勇気と勇気づけについて理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
13	アドラー心理学（1）	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。 また、人生を主体的に生きるための知見について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
14	アドラー心理学（2）	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。 また、人生を主体的に生きるための知見について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
15	本講義のまとめ	試験を実施し、本講義の内容を振り返り心理学的な知見のまとめを行う。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60

授業名	生活学的政治論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	政治とは、決して私達の生活からかけ離れた存在ではなく、私達の社会、生活と密接に関わっている。また、私達の生活上の意識が今日の政治に反映されているともいえる。本講義では、様々なテーマを通して、生活と政治との密接な関わりについて理解し考察できる能力を養うことを目標とする。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	教養として政治学を学修することを通じて、私達の生活と政治が如何に密接につながっているか、理解し考察できる能力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	定期試験80点、小テスト20点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	成蹊大学法学部編『教養としての政治学入門』ちくま新書他			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる政治及び社会の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1106			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	特になし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	政治とは。政治思想の歴史について①	政治とは何かについて、また古代ギリシアの政治思想、近代黎明期の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	政治思想の歴史について②	社会契約論と市民革命期以降の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	政治思想の歴史について③	保守主義、ユートピア思想と社会主義、日本の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	政治と政治制度①	権力分立制（三権分立論等）及び大統領制と議院内閣制について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	政治と政治制度②～各国の政治制度	各国（アメリカ、イギリス、ドイツ他）の政治制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	政治思想の歴史及び政治と政治制度について～まとめ	政治思想の歴史と政治と政治制度について、これまでの学修内容を振り返る。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	政治と議会制度	議会主義の起源と発達、現代社会と議会主義の危機、議会制度（一院制と二院制）について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	政治と選挙制度①	選挙の原則、選挙の機能、選挙制度の種類、ドント式による議席配分について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	政治と選挙制度②	小選挙区制と比例代表制との比較、各国の大統領選挙制度について学修する。小テスト実施予定。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	政治と選挙制度③	各国の上院議員選挙について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	政治と選挙制度④～まとめ	日本の選挙制度について学修し、これまでの学修内容を振り返る。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	政治と政党①	政党の起源、大衆政党について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
13	政治と政党②	政党の類型・分類、各国の政党の特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
14	政治と圧力団体	圧力団体とは何か、その分類、機能、活動について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60
15	政治的無関心とその理論	政治的無関心の歴史とその理論について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60

授業名	生活学的法律論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること			
履修条件	家政学部 1 年	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験と出席の程度を考慮する	
テキスト	その都度指定する			
参考書	その都度指定する			
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい			
位置付け・水準				
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻（１）	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻（２）	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚（１）	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚（２）	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子（１）	親子の種別（実子・養子）と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子（２）	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力（１）	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力（２）	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	生活学的社会論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか、すなわち現代社会の特性、人と社会との関係、社会問題とその背景について理解を深め、考察する力を養うこと、更に社会と切り離せない生活の多様性についても理解することを目的としている。なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	授業内で採り上げる。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1108			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題―DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート（ひきこもりを含む）、日本的雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と自己と他者①	癒しと宗教、社会的自我と個人のアイデンティティについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と自己と他者②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（１）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（２）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（３）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	生活学的経済論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。 なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	経済的事象を経済的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1109			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。 近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
10	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
12	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
14	行動経済学とその概要①	行動経済学とは何か、その概要について学修し、ナッジ（nudge）理論を元にその事例を紹介する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
15	行動経済学とその概要② まとめ	行動経済学の理論について学修する（前回の続き）。これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	日本国憲法	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。			
履修条件	幼児教育学科 1年生	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
テキスト	憲法【第二版】 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
位置付け・水準				
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特色、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下 の平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげ ながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	生活生物学	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎諏訪 雅貴			
開講期	前期			
授業の概要	本講義は、高校時に生物基礎や生物を履修しなかった学生、それらの科目の復習を希望する学生、および本授業内容に興味を持った学生を対象とし、大学で人体の構造と機能を学ぶための基礎を構築する。主にヒトの細胞、器官、全身レベルを対象として、ミクロレベルからマクロレベルまでの生命の基本的性質とそれらの関わりを知り、さらには、医療、福祉、栄養、健康づくりの基本となる現象について学び、理解を深めていく。試験問題は返却して解答例を公開するので、復習に活用してください。			
授業の到達目標	身体の仕組み、健康、疾病などに関する生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方を養う。60点以上で単位を認定する。			
履修条件	特にないが、高校時に生物基礎や生物を履修しなかった学生、またはそれらの復習をしたい学生には履修を勧める	成績の 評価方法・基準	期末試験（100点満点）で評価する。授業内容の60 %以上の理解をもって単位を認定する。	
テキスト	生理学・生化学につながる ていねいな生物学 白戸亮吉、小川由香里、鈴木研太／著 羊土社			
参考書	高校の生物基礎および生物の教科書・参考書等の関連分野の復習を勧める。			
学生への要望	授業前には、教科書の範囲に目を通しておく。授業終了後は、家庭学習用に配布したプリントを用いて復習をしておくこと。			
位置付け・水準	GC1109			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	月曜日3-5 限 場所 家政学館3階 生理学・食品衛生学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	特になし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス 細胞小器官の機能と遺伝情報の発現	この講義の概要について説明する。 細胞の基本構造、細胞膜がかかわる物質の移動、および遺伝情報の発現を中心とした細胞小器官の機能について理解する。P12-31	高校の基礎生物学レベルの内容を確認しておくこと。授業前に教科書P12-31に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
2	遺伝情報の分配と発生・分化	細胞分裂と遺伝情報の分配、精子・卵の成熟と受精の一連の流れ、および胚子の発達と組織・器官の分化について理解する。P32-45	授業前に教科書P32-45に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
3	消化・吸収	栄養素の消化吸収について、および消化器系の機能について理解する。P46-55	授業前に教科書P46-55に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
4	栄養素の利用	栄養素の代謝の概要、ATP産生の流れ、および糖代謝への脂質、タンパク質の導入について理解する。P56-71	授業前に教科書P56-71に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
5	細胞機能と遺伝情報、栄養素の代謝（まとめ）	細胞小器官の機能と遺伝情報の発現、および遺伝情報の分配と発生・分化について、消化・吸収、および栄養素の利用について、演習問題を解きながら知識をまとめ、理解を深める。	授業前に教科書P12-71を読んで復習しておくこと。授業後は、授業中に行った演習問題を解きなおし、知識の定着を図ること。	60
6	血液と免疫	血液の機能と仕組みについて、および生体の防御機構について理解する。P72-90	授業前に教科書P72-90に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
7	血液の循環と呼吸	循環系の概要、心臓の構造と機能、および呼吸器系の概要について理解する。P91-113	授業前に教科書P91-113に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
8	体液調節と尿生成	細胞内液と細胞外液の組成の違い、および腎臓の機能としての体液の調節と尿生成について理解する。P114-129	授業前に教科書P114-129に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	血液の循環と調節（まとめ）	血液と免疫、血液の循環と呼吸、および体液調節と尿生成について、演習問題を解きながら知識をまとめ、理解を深める。	授業前に教科書P72-129を読んで復習しておくこと。授業後は、授業中に行った演習問題を解きなおし、知識の定着を図ること。	60
10	神経の構造と機能	神経の概要、神経細胞の構造、静止電位と活動電位、およびシナプス伝達について理解する。P130-151	授業前に教科書P130-151に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
11	筋収縮のしくみ	筋の種類と特徴、骨格筋の構造、および筋収縮の仕組みについて理解する。P152-165	授業前に教科書P152-165に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
12	刺激の受容のしくみ	刺激の受容と感覚、および受容体の構造と機能について理解する。P166-182	授業前に教科書P166-182に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
13	ホルモンによる生理機能の調節（1）	ホルモンの種類、ホルモン受容体、ホルモン分泌の調節、および甲状腺のホルモンの作用について理解する。P183-197	授業前に教科書P183-197に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
14	ホルモンによる生理機能の調節（2）	副腎ホルモン、膵臓ホルモン、性ホルモン、消化管ホルモン、その他のホルモンの作用について理解する。P198-208	授業前に教科書P198-208に目を通しておくこと。授業後は、配布したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
15	刺激の受容と反応（まとめ）	神経の構造と機能、筋収縮のしくみ、刺激の受容のしくみ、およびホルモンによる生理機能の調節について、演習問題を解きながら知識をまとめ、理解を深める。	授業前に教科書P130-208を読んで復習しておくこと。授業後は、授業中に行った演習問題を解きなおし、知識の定着を図ること。	60

授業名	生活化学	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎梅影 創			
開講期				
授業の概要	生活科学部での専門科目学習において重要な化学系各講義を理解するための化学的基礎学力および知識の修得を目指す。高校化学の復習・補完および教職課程に必要な有機化学、食品化学、環境化学など専門化学系科目の導入知識の修得を目指す。			
授業の到達目標	原子の構造と化学結合についての化学的基礎知識を修得する。 化学結合論に基づいた代表的な有機化合物の立体構造の推察力及び表現力を獲得する。 有機化合物の構造と命名法の理解と代表的な有機化合物の命名能力を獲得する。 単位認定の最低基準：化学的基礎知識が習得されていること。			
履修条件	生活科学科社会福祉コース 1年 生活科学科建築デザインコース 1年	成績の 評価方法・基準	小テスト (20%) 筆記試験 (80%)	
テキスト	なし			
参考書	生理学・生化学につながる ていねいな化学(羊土社)			
学生への要望	講義での学習内容は、高校化学の復習に基づく化学的基礎知識を70%、専門化学系科目の導入知識を30%に設定している。1年後期以降に受講する専門化学系科目の準備として、本講義の学習内容をほぼ完全に理解・修得することが望ましい。 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。			
位置付け・水準	GU1112			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成。			
オフィスタイム	月曜日：13:00～16:00。 火曜日：13:00～16:00。 木曜日：13:00～16:00。			
アクティブラーニング実施内容	随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。			
実務家教員の経歴	実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。 実務経験：医師として医療機関に勤務している。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質の構成と原子構造	物質の構成。 原子構造と周期表。	物質は何でできている？、粒子は常に動いている！、元素と原子と分子ってどう違うの？、荷電って何？、周期表って何？、等々…………。	120
2	化学結合	イオン同士の結びつき、イオン結合。原子同士の結びつき、共有結合。金属同士の結びつき、金属結合。	イオンって何？、イオン結合って何？、共有結合って何？、ファンデルワールスカって何？、金属結合って何？、等々…………。	120
3	物質質量	原子量、分子量、式量。 物質質量と化学反応式。	原子量、分子量、式量って何？、質量って何？、体積、密度って何？、溶媒・溶質・溶液って何？、モル濃度って何？、化学反応式って何？、等々…………。	120
4	酸と塩基。 酸化還元反応。	酸と塩基。酸化還元反応。	酸、塩基とは？、酸・塩基の価数とは？、酸・塩基の強弱は電離度で決まる！、酸性・中性・塩基性、pH、中和、塩って何？。酸化と還元の3つの定義。電池の仕組み。	120
5	酵素反応と酸塩基平衡	酵素反応。 体液の酸塩基平衡。	化学反応にも速度がある、化学反応による熱の出入り、化学反応にはエネルギーが必要、酵素は体内の化学反応を促進する。化学反応には方向性がある、平衡状態が崩れたらどうなるの？、pHの変化をやわらげる働き。	120
6	生体を構成する物質	糖質、脂質、タンパク質、核酸。	からだは有機物で出来ている。	120
7	気体の性質	気体・液体・固体、温度と状態、理想気体方程式。	物質の状態(特に気体について)予習復習をしましょう。	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	炭素化合物	アルカン。アルケン。シクロアルカン、シクロアルケン。	炭素化合物について予習復習をしましょう。	120
9	官能基	アルコールとエーテル。アルデヒド。ケトン。カルボン酸。エステル。アミンとアミド。	官能基について予習復習をしましょう。	120
10	芳香族	芳香族化合物。	芳香族について予習復習をしましょう。	120
11	色素	色素。	色素について予習復習をしましょう。	120
12	香り、味	香り、味。	香り、味について予習復習をしましょう。	120
13	高分子	高分子とは何か？。ポリエチレンとその仲間。ナイロンとその仲間。ゴム・プラスチック・合成繊維など。	高分子について予習復習をしましょう。	120
14	環境化学	環境化学。	環境化学について予習復習をしましょう。	120
15	まとめ	総合討論。	講義の内容・程度・分量などについて全体的に討論をしましょう。	120

授業名	生活物理学	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	生活に関わる現象の物理的な理解を目的とし、様々な現象の状態・変化を記述する物理学を学ぶ。本講義では日常生活で見られる現象に対する物理学的な見方を学ぶ。またエネルギー・エントロピーなど、現代社会における重要な概念を学び、社会生活を送る上で適切な判断ができるよう基礎知識を習得する。 フィードバックとしてリフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却・課題内容の説明等を行う。			
授業の到達目標	生活に係わる現象の物理学的理解のために本講義では、(1) 基礎的な用語を理解していること、(2) 基本的な物理量の定量評価ができること、(3) 日常現象の物理的な説明ができること、を目標とする。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	課題(理解度の確認) 2 回・リフレクションペーパーの提出による。配点割合は課題が各 40%、リフレクションペーパーの提出を 20% とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。成績評価の観点は、(1) 基礎的な用語の理解、(2) 基本的な物理量の定量評価、(3) 日常現象の物理的な説明 ができることである。	
テキスト	適宜プリントを配布する。			
参考書	・横田 俊昭，ぶつり学，共立出版株式会社 (1993) ・数研編集部 編，物理図録，数研出版（平成 18 年） ・志村史夫，いやでも物理が面白くなる，講談社 (2001)			
学生への要望	基本的な数式の扱いに慣れておくこと。また内容が多岐に渡るので、参考書などを利用し理解を深めよう努めること。			
位置付け・水準	GU1113			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月 3 限、火 3 限、木曜 1・2 限（芸術館 2 階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。☑			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	授業の目標・内容・成績評価の方法を提示する。また本講義を受ける上で前提とする数学のレベルを提示し、次週以降の準備として比率・指数・接頭辞・比例と反比例に関する復習を行う。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗および比例と反比例における変数間の関係を確認すること。	30
2	スカラーとベクトル	物理学で必要となるスカラーとベクトルの概念、演算法則、具体例を学ぶ。物理学で重要な量に位置や速度があるが、これらはベクトル量であることを理解し、速度が(ベクトルとしての)位置の変化量に関係することを学ぶ。	本時の復習として、ベクトルの演算法則を確認すること。また位置がベクトルとして表現されること（位置ベクトル）と位置ベクトルの変化が速度と関係することを確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
3	ニュートンの3法則(慣性の法則・作用反作用の法則)	運動方程式に現れる量は加速度であるため、まず加速度とはどのように定義される量か、位置と速度の関係を参照することで理解する。また運動を理解する上で重要なニュートンの3法則を学ぶ。ここでは慣性の法則と作用・反作用の法則について学ぶ。授業内で押し合いなどの体験を通して、作用・反作用の法則の内容を理解する。	本時の予習として、位置と速度の関係を確認しておくこと。本時の復習として、速度と加速度の関係が位置と速度の関係と同一であることを確認すること。さらに2つの相互作用する物体間の力を図示してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
4	ニュートンの3法則(運動方程式)	ニュートンの 3 法則の一つである運動方程式について学ぶ。概念を理解するため質量が一定の場合に成立する運動方程式を導入する。次に運動量の概念を導入し、質量が変化する場合にも対応できる運動方程式 (ニュートンの運動方程式)を導入する。さらに具体例により運動量の変化と力の関係を理解する。また導入された運動量に対する保存則(運動量保存則)が成立することを示し、具体例を通して運動量保存則の意味を理解する。	本時の復習として、ニュートンの三法則の内容を確認すること。また運動量の定義および運動量保存則の意味を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	角運動量	角運動量とはなにか定義し、角運動量が保存則（角運動量保存則）していることを理解する。角運動量保存則により、スケートのスピンなどが理解できることを示す。また角運動量を変化させる力であるモーメントあるいはトルクを導入し、道具や機器とモーメントの関係を理解する。バットなどを用いて、回転の中心からの距離がモーメントに影響することを体感し、モーメントの意味を理解する。	本時の復習として、角運動量とモーメントの定義および各運動量保存則の意味を確認すること。また角運動量保存則の意味と具体例を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
6	仕事とエネルギー	仕事の概念を導入する。また単位時間あたりの仕事を意味する仕事率を定義する。これらの仕事の概念からエネルギーの概念を導出する。過程によらずエネルギーは保存すること(エネルギー保存則)を示し、具体的な例として位置エネルギー(水力発電などが該当)や運動エネルギーを学ぶ。また具体的な例によってエネルギーの量がどの程度であるのか概算する。	本時の復習として、仕事とエネルギーの関係を確認すること。またエネルギー保存則と日常の現象との関係を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
7	圧力	日常では力の概念を用いるより、力を平均化した圧力を用いる方が有効な場合がある。ここでは圧力を定義し、体重による圧力や大気圧の概算を行い、日常の圧力がどの程度であるのかの感覚を掴む。また体重による圧力や水圧に関する簡易実験などを行い、圧力に起因する現象や圧力を利用した装置などについても学ぶ。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
8	物質の三態	熱力学を理解する上で有用な気体の性質について学ぶ。理想気体の法則であるボイル・シャルルの法則を学び、状態方程式の概念を掴むこととする。物質の三態(気体・液体・固体)を理解し、温度が一定であっても圧力により様々な状態を取ることを学ぶ。またこれらの相の変化(相転移)の概念を学ぶ。	本時の復習として、状態方程式で関係づけられる物理量を確認すること。また相図から、実現される相(気体・液体・個体)は圧力や温度に依存していることを確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
9	熱力学の法則	熱を扱う学問を熱力学と呼ぶ。熱とは何かを理解し、熱力学の基本法則の一つである熱力学第一法則(熱を含むエネルギー保存則)を学び、エネルギーとの関係で比熱を理解する。また熱機関の考えを通じ、熱力学の基本法則の一つである熱力学第二法則(エントロピー増大の法則)を学ぶ。エントロピーの概念の概略を掴み、自然の変化の方向がエントロピーによって定まっていることや環境問題とエントロピーの関係を理解する。	本時の予習として、エントロピーという単語を調べる。また本時の復習として熱力学の第一法則と力学的なエネルギー保存則の違い、および熱力学第二法則の意味を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
10	課題1	これまでの内容理解を確認するための課題を行う。課題実施後にこれまでの内容について整理する。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120
11	波	波の基本的な特徴や性質について学ぶ。波の物理的特徴である振幅・波速・波長およびこれらと関係する振動数(周波数)について理解する。さらに縦波と横波の差異や波の性質として重要な、干渉(重ね合わせの原理)、回折、屈折、反射などについても学ぶ。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
12	音波と知覚	音波は(空気とは限らない)物質の疎密波である。まず様々な物質中の音の速さや温度依存性を学ぶ。音波も波であるから、波の特徴である干渉・反射・屈折・回折という性質を有する。これらの特徴が音のどのような性質として現れるかについて学び、さらに日常でも確認できるドップラー効果について学ぶ。これらの物理刺激を人間がどのように捉えるかを法則としてまとめたウェーバ・フェヒナーの法則を学び、デシベルの考え方を理解する。また音の物理的性質と人間の感じる音の性質の違いについて触れる。	本時の復習として、音波とはどのような波であるか確認すること。また波の性質がどのように現れているか確認すること。さらにウェーバ・フェヒナーの法則の意味を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
13	光	日常にありふれている光は、突き詰めると極めて難しい対象である。ここでは、まず光の波の側面に着目し、光は電磁波であり、横波であることを理解する。電磁波はその波長(あるいは周波数)によって特性が大きく異なることから、波長・周波数に対応する用途について学ぶ。さらに波の性質である回折・干渉・屈折・反射が光の性質としてどのように現れるか学ぶ。特に光では全反射と呼ばれる現象が見られることを理解し、これらの波の性質を実験を通して理解することとする。また光が横波であることから、光には偏光と呼ばれる光が存在する。偏光とはなにか、偏光板を用いて理解する。	本時の復習として、光がどのような波であるか確認すること。また波長と周波数(振動数)が1対1に対応することを理解しておくこと。加えて波の諸性質について整理しておくこと。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	光のスペクトル	波長あるいは周波数に対する光の強度分布を(光の)スペクトルと呼ぶ。スペクトルは光源毎に異なっているため、スペクトルからどのような光源から放たれた光であるか、光源の移動速度はどの程度であるかといった事について判断できる。ここではスペクトルの概念を理解する。理解を深めるために分光器を用い、太陽光や蛍光灯の光などのスペクトルを観察する。	本時の復習として、スペクトルとは何かを確認すること。また連続スペクトルと線(離散)スペクトルの違いを確認しておくこと。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
15	課題2	これまでの内容理解を確認するための課題を行う。課題実施後にこれまでの内容について整理する。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120

授業名	数理・データサイエンス基礎	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名				
開講期				
授業の概要	この講義では、数理・データサイエンス・Artificial Intelligence (AI) の社会に与える影響・データを扱う上での注意事項・データを扱うための表現・データから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達やインターネット等の情報網の発達により大量のデータが得られるようになったことやAIに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおりており、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで数理的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上を踏まえ、本講義では、数理・データサイエンス・AIに基づく社会の変化、大量のデータを扱う場合の留意点、データを扱うための基礎的な数理表現、データから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。 フィードバックとして、リフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却や中間課題の説明等を行う。 位置づけ・水準 GU1114			
授業の到達目標	社会におけるデータ活用の基本的な知識を習得し、データを扱い情報を抽出する基本的な方法を理解する。具体的な目標は、 1. 社会におけるデータやAI利活用およびその留意事項等について説明できること 2. データを扱うために必要な数な扱い（冪・関数・行列・集合）ができるようになること 3. データの記述とデータからの情報抽出（検定・回帰）ができるようになること である。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること ディプロマ・ポリシーとの関係：「他との協調」「人間形成」			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	リフレクションペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、リフレクションペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。	
テキスト	テキストを PDF として Web 上で配信する。			
参考書	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)			
学生への要望	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。			
位置付け・水準				
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の構成と数理・データサイエンス・AIによる社会の変化と動向 石原・伊藤（央）	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。近年は大量のデータを取得し取り扱えるようになったことにより、データサイエンス・AIと呼ばれる分野が盛んになった。本時では、数理・データサイエンス・AIによって社会にどのような変化が生じているか、また今後はどのような方向に向かうと考えられるか概説する。	復習として、これまでの社会変化がどのようなものであったか整理してみること。	30
2	利活用されているデータ・利用領域・利用技術・利活用の現場 石原・伊藤（央）	社会では様々な種類のデータが活用されている。本時ではデータやAIの活用領域、利用するための技術、利活用例などについて学ぶことにする。	政府統計ポータルにアクセスし、少なくとも三つのデータもしくはグラフを確認すること。	30
3	データサイエンスと情報の保護 石原・伊藤（央）	データサイエンスやAIの知識や技術を利用すると、様々な大量のデータを結合し、特徴を抽出することが可能となる。このことは利便性を生む反面、個人の行動・趣味などの秘匿すべき情報も分析できることを意味する。本時では、データを扱う上での留意事項を学ぶこととする。	Ethical, Legal and Social Implications (ELSI) について調べてみること。 Society4.0とSociety5.0の違いを比較し整理してみること。	60
4	巾の演算 石原・伊藤（央）	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	一次関数 石原・伊藤（央）	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45
6	ベクトルと行列 石原・伊藤（央）	複数の数値はひとまとめにしてベクトルとすると扱いやすくなる。本時では、データを扱う際に必要となるベクトルとベクトルに作用する行列について学ぶ。	2行2列の行列を作成し、行列の積が非可換であることを確認すること。また逆行列が存在しない行列を具体的に構成してみることに。	45
7	集合 石原・伊藤（央）	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題 石原・伊藤（央）	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確実なものにする。また本時では本課題の説明も行う。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述 石原・伊藤（央）	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探してみることに。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関 石原・伊藤（央）	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	検定の基礎 石原・伊藤（央）	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。本時では検定の基本的な考え方を学ぶ。検定を行うための前提条件である正規性や検定を行う過程で用いられる帰無仮説・優位水準・p値などの概念を学ぶ。また検定における過誤についても学ぶ。	検定で用いられる、正規性・帰無仮説・優位水準・p値などの用語を整理すること。	60
12	パラメトリック検定 石原・伊藤（央）	検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みることにする。またパラメトリックな検定が利用できない場合に用いるノンパラメトリック検定について、その概略を学ぶ。	復習として、複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
13	適合度の検定と独立性の検定 石原・伊藤（央）	検定には、測定値が理論値と合致するか否かを判断するための適合度の検定や、二つの要素に関連性があるか否かを判断するための独立性の検定がある。本時ではこれらの検定の考え方を学ぶ。また簡単な例を通して、これらの検定を受講生自らが検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定や独立性の検定を行ってみること。	60
14	回帰分析による実データの分析 石原・伊藤（央）	ある変数(目的変数) と他の変数(説明変数) からなる回帰式と呼ばれる式により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方および線形回帰と非線形回帰の違いを学ぶ。その後国・地方公共団体・産業界等によって収集された実データを分析する。分析するための処理を行い、その後、線形回帰によりデータを分析をする。一連の過程を受講生自身が行うことにより、回帰分析および実際の分析過程を学ぶことにする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求め、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90
15	まとめ 石原・伊藤（央）	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

授業名	国語表現法Ⅰ	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎真船 均			
開講期	前期			
授業の概要	W. シェイクスピア作『ソネット集』（高松雄一訳 岩波文庫）をテキストに、国語読解を行います。同時に、Frost, Corey, et al. The Broadview Pocket Guide to Writing. Broadview Press, 2017を参考文献に学術論文の書き方を学びます。課題を添削し、コメント等によるフィードバックを行います。			
授業の到達目標	創造的・論理的思考に基づく学術論文の書き方を学び、言語コミュニケーション能力を高めることを目標とします。単位認定の最低基準は、内容の7割から8割を理解していることです。			
履修条件	生活科学科・食物栄養学科1年	成績の 評価方法・基準	課題50% 期末試験50%	
テキスト	W. シェイクスピア作『ソネット集』高松雄一訳 岩波文庫			
参考書	随時紹介します。			
学生への要望	授業には積極的に関わり、課題は必ず提出して下さい。			
位置付け・水準	GU1115			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	授業の前後、教務部非常勤講師控室。			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	授業の構成、進め方および評価方法等を説明する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
2	1番－5番、論文語句の選択①	『ソネット集』1番－5番を分析する。「論文の適語」について解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
3	6番－10番、論文語句の選択②	6番－10番を分析する。「論文の適語」について更に解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
4	11番－15番、アイデアの連結①	11番－15番を分析する。「アイデアを的確に連結する」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
5	16番－20番、アイデアの連結②	16番－20番を分析する。「アイディアを明確に連結する」を更に解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
6	21番－25番、アイディアの連結③	21番－25番を分析する。「アイディアを明確に連結する」を解説する③。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
7	26番－30番、アイディアの連結④	26番－30番を分析する。「アイディアを明確に連結する」を解説する④。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
8	31番－35番、論文の一貫性	31番－35番を分析する。「論文の一貫性」について解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
9	36番－40番、論文のリズム	36番－40番を分析する。「論文におけるリズム」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
10	41番－45番、論文におけるパラグラフ	41番－45番を分析する。「論文におけるパラグラフ」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
11	46番－50番、論文における対比	46番－50番を分析する。「論文における対比」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
12	51番－55番、論文における話題から主張へ	51番－55番を分析する。「論文における話題から主張へ」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
13	56番－60番、議論の特徴	56番－60番を分析する。「論文における議論の特徴」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
14	61番－65番、議論の構成	61番－65番を分析する。「論文における議論の構成」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
15	66番－70番、議論のパラグラフ	66番－70番を分析する。「論文における議論のパラグラフ」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60

授業名	国語表現法Ⅱ	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎真船 均			
開講期				
授業の概要	ジェイムズ・ジョイス作『ダブリナーズ』（柳瀬尚紀訳）をテキストに読解を行います。同時に、Frost, Corey, et al.The Broadview Pocket Guide to Writing, Broadview Press, 2017を参考文献に議論文としての学術論文の書き方を学びます。課題提出文を添削し、コメント等によるフィードバックを行います。			
授業の到達目標	議論文としての学術論文の書き方を学び、言語コミュニケーション能力を高めることを目標とします。単位認定の最低基準は、内容の7割から8割を理解していることです。GU1116			
履修条件	生活科学科・食物栄養学科1年	成績の 評価方法・基準	課題60％ 期末試験40％	
テキスト	ジェイムズ・ジョイス作『ダブリナーズ』（柳瀬尚紀訳）新潮文庫			
参考書	随時紹介します。			
学生への要望	授業には積極的にに関わり、課題は必ず提出して下さい。			
位置付け・水準				
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	授業内容全体の説明。「論文タイトル」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
2	「土くれ」、トピックスから主張へ	「土くれ」を分析する。「トピックスから主張」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
3	「土くれ」②、議論とは	「土くれ」を更に分析する。「議論とは」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
4	「痛ましい事故」、議論の構造と段落	「痛ましい事故」を分析する。「議論の構造と段落」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
5	「痛ましい事故」②、自分の議論と他人の議論	「痛ましい事故」を更に分析する。「自分の議論・他人の議論」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
6	「委員会室の鳶の日」、学術論文の言葉使い	「委員会室の鳶の日」を分析する。「論文の言葉使い」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
7	「委員会室の鳶の日」②、論文の構造	「委員会室の鳶の日」を更に分析する。「論文の構造」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
8	「母親」、科学性と文体	「母親」を分析する。「科学性と文体」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
9	「母親」②、一人称と能動態	「母親」を更に分析する。「論文の一人称と能動態」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
10	「恩寵」、通常の書きもの	「恩寵」を分析する。「日常語を避ける」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
11	「恩寵」②、スラングと非公式な言葉使い	「恩寵」を更に分析する。「スラングと非公式な言葉使い」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
12	「死せるものたち」、ジェンダー	「死せるものたち」を分析する。「ジェンダー」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
13	「死せるものたち」②、ジェンダー②	「死せるものたち」を更に分析する。「ジェンダー」を更に解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
14	「死せるものたち」③、人種と倫理、階級	「死せるものたち」を深く分析する。「人種と倫理、階級」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60
15	「死せるものたち」④、宗教、性的志向、障害	『ダブリナーズ』における「死せるものたち」の位置を解説する。「宗教、性的志向、障害」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノート を整理する。	60

授業名	総合英語 I	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎ダニエル　ホーナー			
開講期				
授業の概要	総合英語 I (Comprehensive English 1) for Life Science Department Students for 2024-25. CLASS OVERVIEW: A. Students express themselves through a self-introduction in active learning environments. B. Describe characteristics and personalities of others through active learning. C. Talk about your family and their profiles in active learning group presentations. D. Take a comprehensive written examination. E. Active learning is substantially utilized in every lesson! F. FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.			
授業の到達目標	CLASS GOALS: 1. The main objective is to improve all 4 English skills (reading, writing, listening and speaking) with a focus on English communication and listening through numerous active learning situations. 2. Students will learn how to self-evaluate their coursework, ways to improve their ability on homework, quizzes and reports, and how to become active learners to truly increase English proficiency. 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the mini-test, homework and the final test.			
履修条件	大 1 年生 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	成績の 評価方法・基準	1. Attitude, Actively Learning (10%) 2. A Mini-Test, Homework (40%) 3. Final Written Test (50%)	
テキスト	Textbook: "Impact CONVERSATION 1" by Kristen Sullivan and Todd Beuckens. Publisher: Pearson and Longman. ISBN: 978 - 962 - 01 - 9933 - 2 The textbook can be used for 2 years, e.g., this textbook can be used for both 総合英語 I and 総合英語 II.			
参考書	Prints and reference materials produced by the instructor.			
学生への要望	1. Please attend all classes and be active learners during every class. 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. 3. Always do classwork, coursework and listen to the CD audio tracks. 4. Study hard for the Mini-Test and Final Test.			
位置付け・水準	位置付け・水準 (ナンバリング)はGU1117です。			

ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. (このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で19年間英語の教員として勤務しました。)

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction, Guidance and Unit 1	Guidance about the textbook, tests, quizzes, homework, attendance, etc. Active Learning: Interview classmates to ascertain information about them. Unit 1 - Guess Where I'm From: Pages 8-9, 81, CD Tracks 2-8.	Review Unit 1, Listen to CD Tracks 1-8.	120
2	Unit 1 - Conversation Starters	Unit 1 - Guess Where I'm From: Getting background information from others. Watch an Internet video about requesting background information. Active Learning: Share basic personal information in groups. Pages 9-11, 81, CD 2-8.	Review	90
3	Unit 1 - Personal Questions	Unit 1 - Asking Personal Questions: Who are you like? Asking personal questions to classmates. Active Learning: Presentations of detailed personal profiles in groups. Pages 11-12, 81, CD 2-8.	Review	120
4	Unit 2 - Comfy Seats	Unit 2 - Comfy Seats: Expressing preferences. Active Learning: Listen to determine entertainment preferences of five people. Pages 13-16, 82, CD 9-15.	Preparation	120
5	Units 2 and 3 - The Art Gallery	Unit 2 Review. Unit 3 - Pastimes: Describing your own pastimes. Watch and practice an Internet video about expressing entertainment preferences. Introduction to additional Internet resources. Active Learning: Pair work to express preferences about genres of music and movies. Pages 17-18, 83, CD 14-22.	Review	90
6	Units 3 and 4 - My Quirky Family	Unit 3 Review. Unit 4 - My Quirky Family: Describing family members and personalities. Active Learning: Presentations on pastimes in groups. Pages 19-23, 84, CD 21-26.	Preparation	120
7	Unit 4 - Family Relationships	Unit 4 - Describing Family Relationships. Active Listening: Listen to determine the feelings and complexities of family relationships. Pages 23-24, 84, CD 23-29.	Review all materials and study for quiz.	150
8	Units 4 and 5 - Scaredy Cat, Mini-Test	Unit 4 Review. Unit 5 - Scaredy Cat: Expressing Fears. Researching iconic artists. Active Learning: Presentations in groups about your own family. Pages 24-27, 85, CD 27-30. Take quiz No.1. Students take Mini-Test (the Mini-Test is a midterm test).	Preparation	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	Unit 5 - Scaredy Cat	Unit 5 - A Board Game: Playing a game about scary things. Active Learning: Listen to ascertain what people are afraid of. Pages 27-28, 85, CD 30-36.	Review	120
10	Unit 6 - The Commute	Unit 6 - Commutes: Discussing commutes to university. Watch and practice an Internet video about getting around town. Introduce more Internet resources. Active Learning: Interview classmates to learn about their commutes. Pages 29-30, 86, CD 37-44.	Prepare an essay on commutes.	90
11	Unit 6 - Complaints	Unit 6 - Dislikes: Expressing dislikes and complaints. Active Learning: Group discussion on the reasons people dislike commutes. Pages 31-32, 86, CD 37-44.	Review	120
12	Units 1-6 Review	Comprehensive Review of Units 1-6. Complete grammar and conversational exercises to review all the previous units. Active Learning: Presentations in groups about topics and information gleaned from Units 1-6.	Review	90
13	Unit 7 - A Close Shave	Unit 7 - A Close Shave: Talking about dangerous experiences. Active Learning: Listen to determine what kinds of incidents happened to people. Pages 33-36, 87, CD 45-49.	Review	120
14	Unit 8 - Excuses	Unit 8 - Excuses: Expressing healthy habits. Watch an Internet video about various countries and their foods. Active Learning: Conversations in pairs to articulate healthy eating habits. Pages 37-40, 88, CD 50-56.	Preparation	90
15	Conclude Unit. 8. Comprehensive Review for Final Examination, Final Test	Finish and review Unit 8. Conduct a comprehensive review for the final written examination. Active Learning: Group work where students do a cumulative review of the course by asking each other questions from Units 1-8. Pages 9-40, CD 2-56. Students take the final test today. So there is no final test during the regular testing period.	Study, review and prepare for final test that is today.	240

授業名	総合英語Ⅱ（ベーシック）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎安田 純子			
開講期				
授業の概要	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増えています。 本講座では、英語の理解力を高め総合的な基礎力を養います。 基本テキストは「音読で学ぶ基礎英語」として「ペアワーク」の練習法や音読筆写を取り入れ、各種テーマ（話題）にそって文法事項を学び総合的に基礎的な英語力アップを目指します。日々の生活の中で密着した表現を多く学びます。 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。			
授業の到達目標	目標は ①平易な英語の文章（英検3級程度）を読んでおおよその意味を把握できる。 ②①レベルの英語を聞いておおよその意味を把握できる。 ③基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。 単位民定の最低基準は、内容の7割以上を理解していること。			
履修条件	・大学2年生以上で総合英語Ⅰの単位が認定されていること。	成績の 評価方法・基準	試験50％、豆テスト30%、筆写課題20％	
テキスト	Let's Read Aloud & Learn English on Campus [SEIBIDO]			
参考書	英語辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものを薦めます。			
学生への要望	Students are advised not to miss any class.			
位置付け・水準	GU1201			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成（コミュニケーション力、創造的思考力）			
オフィスタイム	月曜日13:00～16:30 木曜日9:30～12:30 場所は、創学館4F No.1研究室			
アクティブラーニング実施内容	Pair work, Group work, Chorus reading, Q&A			
実務家教員の経歴	高校教員（英語）経験あり。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Class Introduction	・ Explanation (Contents, The meaning of learning of English, course purpose and exposed goals, evaluation details) ・ Contents (テキストの目次から)	Small Test の準備	60
2	Small Test①②	Small Test①②	Small Test の復習	40
3	Unit1	What's your major? 文法ー (be動詞) 話しかける・自己紹介する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
4	Unit2	How do you like your new school? 文法ー (一般動詞ー現在形) 人を誘う・別れ際の挨拶 Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
5	Unit3	Let me introduce a new member to you. 文法ー (一般動詞ー過去形) 人を紹介する・驚きを示す Warm-up, Let's Listen, let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	Unit4	how was your Golden Week ? 文法－（未来形）予定を述べる・説明する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
7	Unit5	I'm looking for a part-time job. 文法－（進行形）詳細を尋ねる・理由を述べる Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Ret's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
8	Unit6	What do you call this in Japanese? 文法－（受動態）意向を尋ねる・好みを述べる Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
9	Unit7	Have you been there? 文法－（現在完了形）経験を尋ねる・提案する Warm-up, Let's Listen, Let's check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
10	Unit8	Could you tell me how to get there? 文法－（助動詞）道順を尋ねる・感謝する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
11	Unit9	What do you want me to do? 文法－（不定詞）問題点を述べる・依頼する Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
12	Unit10	I'm on a tight budget. 文法－（関係詞）理由を述べる・理解を示す Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
13	Unit11/Exam Prep1	What do you think of this program? 文法－（形容詞・副詞）意見を尋ねる・励ます Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write) Pre session for Exam planned Week15 Review of each lesson（復習）	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
14	Unit12/Exam Prep2	I'm reviewing what I studier. 文法－（接続詞・前置詞）近況を尋ねる・確信する Warm-up, Let's Listen, Let's chack & Read Aloud, Grammar, Ret's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write) Pre session for Exam planned Week15 Review of each lesson（復習）	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写（3回）	90
15	Examination / Explanation forExamination / Total Review	・ Examination ・ Explanation for Examination ・ Total Review	Examinationの準備 全体の復習とまとめ	120

授業名	総合英語Ⅱ（アドバンス）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎ダニエル　ホーナー			
開講期				
授業の概要	Outline for 総合英語Ⅱ (アドバンス)・Comprehensive English 2 (Advanced) for 2024-25: A. All the lessons for this subject, "Comprehensive English 2," are conducted entirely IN ENGLISH. B. Students will frequently participate in active learning activities. C. Students will express various information about themselves, their interests and families. D. Describe hometowns and famous places there. E. Talk about your daily activities using frequency adverbs. F. Active learning is substantially utilized in every lesson! FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.			
授業の到達目標	1. The main objective for "Comprehensive English II" is to improve all 4 English skills (reading, writing, listening and speaking) with a focus on English communication and listening. 2. Students will learn how to self-evaluate their progress and coursework, ways to improve their abilities in the 4 skills, on homework, quizzes, and worksheets. 3. Students will interact in an active learning environment where they frequently express their thoughts and opinions through pair work, group discussions and presentations. 4. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, actively learning, homework, and tests.			
履修条件	大学2年生、 総合英語2の履修には、総合英語1の単位認定とその得点が70点以上を必要とします。	成績の 評価方法・基準	1. Attitude, Actively Learning (10%) 2. A Mini-Test, Homework (40%) 3. Final Cumulative Test (50%)	
テキスト	Textbook: "Impact CONVERSATION 1" by Kristen Sullivan and Todd Beuckens. Publisher: Pearson and Longman. ISBN: 978 - 962 - 01 - 9933 - 2 The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook can be used for both 総合英語Ⅰ and 総合英語Ⅱ.			
参考書	Prints and reference materials made by the instructor.			
学生への要望	1. Please attend all classes and be active learners! 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. 3. Always do classwork, coursework and listening exercises. 4. Study hard for the tests.			
位置付け・水準	位置付け・水準（ナンバリング）はGU1202です。			
ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."			
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!			
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.			
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. （このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で 19 年間英語の教員として勤務しました。）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Guidance and Introduction to Class	Explain Textbook, Tests, Quizzes, Internet Learning Resources, Homework, Attendance, etc. Introduction of teacher to students.	Preparation for the 1st lesson and review.	120
2	Review - Units 1-8	Review of Units 1-8, Pages 9-44, CD Tracks 2-56.	Prepare by reviewing the first 8 units in the textbook.	180
3	Unit 9 - Life's Main Events	Unit 9 - Moving On: Talking about changes in life. Pages 45-46. CD 57-60.	Review	120
4	Unit 9 - Describing Positive Experiences	Unit 9 - Describing 5 big events in life. View and practice a role-playing Internet video about experiences in life. Pages 47-48, CD 57-60, Quiz No. 1.	Preparation	120
5	Unit 10 - Negotiating a Shopping Trip	Unit 10 - Shop Till You Drop: Friends negotiate a shopping trip after making suggestions. Pages 49-50, CD 61-63.	Review	120
6	Unit 10 - Free Time on Weekends	Unit 10 - Free Time on Weekends: Expressing opinions about shopping. Pages 51-52, CD 61-63.	Preparation	120
7	Unit 11 - Describing Activities at Home	Unit 11 - Home Sweet Home: Expressing personal needs and experiences of studying abroad. View and role-play an Internet video about entertainment activities at home. Also introduce Internet websites that will facilitate the students' learning. Pages 53-54, CD 64-70.	Review and prepare for the Mini-Test.	180
8	Unit 11 - Missing Things, Mini-Test	Unit 11 - Missing Things: Discussing things you are attached to (things you can't live without). Pages 55-56, CD 64-70. Students take the Mini-Test today.	Review	120
9	Unit 12 - Social Events	Unit 12 - The Life of the Party: Discussing social events with friends. Pages 57-58, CD 71-74.	Preparation	120
10	Unit 12 - Organizing a Social Activity	Unit 12 - Organizing a social gathering while discerning acceptable and unacceptable behaviors of others. Pages 59-60, CD 71-74.	Review	120
11	Unit 13 - Discussing Cultural Stereotypes	Unit 13 - Aussies are so Cool: Discuss cultural stereotypes. View and role-play an Internet video about global and personal futures. Pages 61-62, CD 75-78.	Preparation	120
12	Unit 13 - World Stereotypes	Unit 13 - World Stereotypes: Expressing stereotypes about various countries. Pages 63-64, CD 73-78, Quiz No. 3.	Review	120
13	Unit 14 - Talking About Cooking	Unit 14 - World's Worst Cook: Talking about cooking abilities. View and role-play an Internet video about foods of the world. Pages 65-68, CD 79-85.	Preparation	120
14	Unit 15 - Lucky Dog	Unit 15 - Lucky Dog: Expressing unexpected good luck experiences. View and role-play situations where people around the world use the Internet. Pages 69-72, CD 86-89.	Begin to review and prepare for the Final Test.	180
15	Unit 16 - Superhero, Final Test	Unit 16 - I Want to be a Superhero: Expressing hopes, desires and dream jobs. Pages 73-76, CD 90-96. Review for the Final Test. Review pages 45-96, CD 57-96. Take the Final Test today (Final Test is today, so there is no test during the regular testing period).	Study, review and prepare for the Final Test. The Final Test is today.	180

授業名	実用英語Ⅰ（安田）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎安田 純子			
開講期				
授業の概要	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増えています。 本講座では、日常の生活における基礎的な英語の理解力を高め英語での表現力を総合的に習得することを目標とします。 バランスのとれた英語力習得のために不可欠な文法・語法の着実な理解と英語を聞き話すための耳と口を鍛えます。音読や筆写による練習法も取り入れ、基本をしっかりと身に付けます。 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。			
授業の到達目標	目標は ①平易な英語の文章（英検3級レベル程度）を読んでおおよその意味を把握できる。 ②①レベルの英語を聞いておおよその意味を把握できる。 ③基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。 単位認定の最低基準は、内容の7割以上を理解していること。			
履修条件	受講資格 生活科学科 1年以上・食物栄養学科 1年以上	成績の 評価方法・基準	成績評価方法 試験50%、豆テスト30%、筆写課題20%	
テキスト	教科書 Let's Read Aloud & Learn English [SEIBIDO]			
参考書	参考書 英和辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものをすすめます。			
学生への要望	学生への要望 Students are advised not to miss any class.			
位置付け・水準	GU1118			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成（コミュニケーション力）			
オフィスタイム	月曜日13:00～16:30 金曜日13:00～16:00 場所は、創学館4F No.1研究室			
アクティブラーニング実施内容	Pair work, Group work, Chorus reading, Q&A			
実務家教員の経歴	高校教員（英語）実務経験あり。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Class Introduction	・ Explanation (Contents,The meaning of learning of English,course purpose and exposed goals,evluation details) ・ Contents（テキストの目次から）	small test の準備	60
2	Small Test①②	・ Small Test①②	small test の復習	40
3	Unit 1	・ Pleased to meet you.-出迎え 会話―一人を紹介する表現 文法―be動詞 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写（3回）	90
4	Unit2	・ DO you remember me?-ケイトとの出会い 会話―仕事を尋ねたり、説明したりする表現 文法―一般動詞の現在形 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写（3回）	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	Unit 3	・ I spoke to Ms. Hayashi yesterday.-苦情対応 会話―謝罪をしたり、相手の意向を尋ねたりする表現 文法―一般動詞の過去形 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
6	Unit 4	・ Whendoes the meeting start?-会議の準備 会話―場所や時間を尋ねる表現 文法―疑問詞を使った疑問文 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
7	Unit 5	・ Can you meet me at the airport?-出張打ち合わせ 会話―依頼する際に使われる表現 文法―助動詞 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
8	Unit 6	・ Feel free to ask me anytime.-使用法説明 会話―使い方を説明する表現 文法―文の種類と命令文 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
9	Unit 7	・ I'm thinking about quitting my job.-仕事の悩み 会話―相談したり、励ましたりする表現 文法―進行形 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
10	Unit 8	・ I'll give her your message.-電話応対 会話―聞き返したり、確認したりなど、電話対応でよく使われる表現 文法―未来形 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
11	Unit 9	・ I haven't received the latest figures.-会議の準備 会話―状況を確認したり、作業を指示したりする表現 文法―現在完了形 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90
12	Unit10	・ The cafeteeria is closed today.-オフィス案内 会話―場所を聞いたり説明したりする表現、感情を表す表現 文法―受動態 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3 回)	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	Unit11/ Exam Prep1	・ We expect higher sales in China.-会議 会話ー比較したり、詳細を尋ねたりする表現 文法ー比較 *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE! ・ Pre session for the Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回)	90
14	Unit12/ Exam Prep2	・ I'd like to check in.-チェックイン *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE! ・ Prep session for the Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回)	90
15	Examination / Explanation for Examination / Total Review	・ Examination ・ Explanation for Examination ・ Total Review	・ Examination の準備 ・ 全体のまとめと総復習	120

授業名	実用英語Ⅰ（ホーナー）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎ダニエル　ホーナー			
開講期				
授業の概要	OUTLINE OF 実用英語Ⅰ / PRACTICAL ENGLISH 1 for 2024-25 : A. Students should be able to understand and use language concerning familiar everyday topics, such as starting conversations and describing personalities. They also should be able to give basic personal and family information. B. Active learning is substantially utilized in every lesson! EVALUATIONS FOR THIS CLASS: 1. You should be able to give a short clear self-introduction. 2. You should be able to read smoothly and understand short passages. 3. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form. FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.			
授業の到達目標	ACHIEVEMENT GOALS OF THIS CLASS: 1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. 2. Required tests and homework will incorporate many listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam. 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, actively learning, homework, and tests. 4. Language acquisition is best achieved with the goals of active learning and active participation.			
履修条件	大学全1年生	成績の 評価方法・基準	1. Attitude, Actively Learning (10%) 2. Mini-Test, Homework (40%) 3. Final Cumulative Test (50%)	
テキスト	Textbook: "Speak NOW 2" by Jack C. Richards & David Bohlke Publisher: OXFORD ISBN: 978-0-19-403016-8 This same textbook can be used for 実用英語 1 and 実用英語 2.			
参考書	Prints and reference materials produced by the instructor.			
学生への要望	Don't miss class. Be attentive. Do regular listening of your audio files. Prepare and review at least 120 minutes for each class. Review all material including textbook, online self-study, prints, and other supplemental materials.			
位置付け・水準	位置付け・水準（ナンバリング）はGU1118です。			
ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."			
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!			
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.			
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. （このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で 19 年間英語の教員として勤務しました。）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to the Class	Lessons 1-4 - FRIENDS & FAMILY. Lesson 1 - Where are you from? Pages 2-8, Explain Textbook, Tests, Quiz, Active Learning, External Supplements, Homework, and Attendance. Active learning through interviewing class members. I will also explain in detail how the online portion of the class will be used.	Review the textbook. Read through Scope and Sequence of the textbook. Review lessons we will do for the class. Review the textbook units and the online activities. Prepare textbook and computer for all classes and bring them to every class.	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	Textbook Lesson 1	Lesson 1 - Where are you from? Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 2-4. Conversation. Active learning through a pair work activity. English in Action Video, page 10. Watch and explain online video.	Review the textbook. Read through pages 2-3. Listen to CD tracks 2-4. Do first online assignment.	120
3	Lesson 2	Lesson 2 - I'm tall and thin. Review Lesson 1. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 5-6. Conversation. Active Learning: pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 4-5. Listen to CD tracks 5-6. Do online assignment.	120
4	Lesson 3	Lesson 3 - Alice is more serious. Review of Lesson 2. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 7-8. Conversation. Active Learning: pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 6-7. Listen to CD tracks 7-8. Do online assignment.	120
5	Lesson 4	Lesson 4 - All of my friends text. Review Lesson 3. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 9-11. Conversation. Active Learning: pair work activity. Summary review of lessons 1-4, pages 10-11. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 8-9. Listen to CD tracks 9-11. Do online assignment. Review pages 12-13. English in Action online video supplement.	120
6	Lesson 5	Lessons 5-8 - RESTAURANTS. Lesson 5 - I've never had Thai food. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 12-13. Conversation. Active learning: pair work activity, and small groupwork describing favorite dishes.	Review the textbook. Read through pages 12-13. Listen to CD tracks 12-13. Do vocabulary worksheet 5. Do online assignment.	120
7	Lesson 6	Lesson 6 - First, grill the bread. Review Lesson 5. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 14-16. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groupwork giving instructions on how to cook a dish. Prepare for next week's Mini-Test.	Review the textbook. Read through pages 14-15. Listen to CD tracks 14-16. Do online assignment. Study hard for next week's Mini-Test.	120
8	Lesson 7, Mini-Test	Lesson 7 - The service is great. Review Lesson 6. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 17-18. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groupwork describing restaurant merits. Students take the Mini-Test today. (The Mini-Test is a midterm written test.)	Review the textbook. Read through pages 16-17. Listen to CD tracks 17-18. Do vocabulary worksheet 7. Do online assignment. Prior to this lesson, study hard for the Mini-Test.	120
9	Lesson 8	Lesson 8 - Are you ready to order? Review Lesson 7. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 19-21. Conversation. Active Learning: pair work activity. Summary review of lessons 5-8, pages 20-21. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 18-19. Listen to CD tracks 19-21. Do online assignment. Review pages 20-21. English in Action online video supplement.	120
10	Lesson 9	Lessons 9-12 - HEALTH. Lesson 9 - I have a sore throat. Review Lesson 8. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 22-23. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groupwork describing personal injuries and accidents.	Review the textbook. Read through pages 22-23. Listen to CD tracks 22-23. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
11	Lesson 10	Lesson 10 - What should I do? Review Lesson 9. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 24-27. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groups discussions on ways to improve diets.	Review the textbook. Read through pages 24-25. Listen to CD tracks 24-27. Do vocabulary worksheet 10. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
12	Lesson 11	Lesson 11 - I'd love to try that! Review Lesson 10. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 28-29. Conversation. Active Learning: pair work activity, and discussion about extreme sports.	Review the textbook. Read through pages 26-27. Listen to CD tracks 28-29. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
13	Lesson 12	Lesson 12 - Soccer is more exciting! Review Lesson 11. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 30-32. Conversation. Active Learning: pair work activity. Summary review of Lessons 9-12, pages 30-31. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 28-29. Listen to CD tracks 30-32. Do online assignment. Review pages 30-31. English in Action online video supplement.	120
14	Lesson 13	Lessons 13-16 - JOBS. Lesson 13 - I can write pretty well. Review Lesson 12. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 33-36. Conversation. Active Learning: pair work activity, and discussions in groups of 5 about what students are good at. Review for next week's Final Test.	Review textbook lessons 1-16. Read through pages 32-33. Listen to CD tracks 33-36. Do vocabulary worksheet 13. Do online assignment. Review English in Action online video supplement. Prepare and study hard for next week's Final Test.	180

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	Review Lessons 1-16, Test Review, Final Test	Review all textbook lessons. Textbook Summary, CD Review, Conversation. Active Learning: pair work activity to review for Final Test. Test Preparation & Review. Take the Final Test today. (The Final Test is today, so there is no test during the regular testing period.)	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the Final Test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation. Prepare for the final test prior to today's lesson. The Final Test is taken during the 15th and final lesson (today).	225

授業名	実用英語Ⅱ（ホーナー）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎ダニエル　ホーナー			
開講期				
授業の概要	COURSE OUTLINE FOR 実用英語Ⅱ / PRACTICAL ENGLISH 2 for 2024-25: A. Students express information about their interests and lives extensively through self-introductions, real-life situations, and active learning environments. B. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as describing abilities and giving advice. They also should be able to give detailed personal and family information. C. Active learning is substantially utilized in every lesson! EVALUATIONS FOR THIS SUBJECT: 1. The lessons for this subject, Practical English II, are conducted entirely IN ENGLISH! 2. You should be able to read smoothly and understand shorts passages. 3. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written forms. FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student, but also the diversity of all of the students.			
授業の到達目標	ACHIEVEMENT GOALS OF THIS CLASS: 1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. 2. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam. 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, actively learning, homework, and the tests. 4. Language acquisition is best achieved with the goals of active learning and active participation.			
履修条件	大学全2年生。 実用英語Ⅰ is NOT NEEDED to take 実用英語Ⅱ。	成績の 評価方法・基準	1. Attitude, Actively Learning (10%) 2. Mini-Test, Homework (40%) 3. Final Written Test (50%)	
テキスト	Textbook: "Speak NOW 2" by Jack C. Richards & David Bohlke Publisher: OXFORD ISBN: 978-0-19-403016-8 This same textbook can be used for 実用英語 1 and 実用英語 2.			
参考書	Prints and reference materials produced by the instructor.			
学生への要望	1. 実用英語Ⅰ is NOT NEEDED to take 実用英語Ⅱ . 2. Don't miss class. Be attentive. 3. Do regular listening of your audio files. 4. Review and prepare at least 120 minutes for each class. 5. Frequently review all course materials including textbook, online self-study, prints, and other supplemental materials.			
位置付け・水準	位置付け・水準（ナンバリング）はGU1203です。			
ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."			
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!			
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.			
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. （このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で 19 年間英語の教員として勤務しました。）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to Class	Review Lessons 1-8: FRIENDS, FAMILY, and RESTAURANTS. Introduction to class: Explain Textbook, Quizzes, Tests, Active Learning Requirements, External Supplements, Homework, Attendance, etc. I will also explain in detail how the online portion of the textbook will be used. Active Learning: Pair work based on textbook p. 11 and p. 21.	Review the textbook. Read through scope and sequence of the textbook. Review the coursework completed during today's lesson. Bring textbook to all classes.	180

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	Lesson 9	Lesson 9 HEALTH - I have a sore throat. Listening and pronunciation: Listen to tracks 22-23. Conversation: Describing health problems. Active Learning: Do pair work activities, watch English in Action video. Pp. 22-23, 30.	Review and review the textbook pp. 22-25. Listen to tracks 22-25. Review notes taken and prints. Do online vocabulary worksheet. Do additional online homework assignment.	120
3	Lessons 10-11	Lesson 10 - What should I do? Lesson 11 - I'd love to try that! Review Lesson 9. Listening and pronunciation: Listen to tracks 24-29. Conversation: Expressing wants and intentions. Active Learning: Do pair work activities, watch English in Action video. Pp. 24-27, 30.	Review and read the textbook pp. 18-25, 30. Listen to tracks 24-29. Review notes taken and prints. Do online vocabulary exercises. Do online homework assignment.	120
4	Lessons 12-13	Lesson 12 - Soccer is more exciting! Lesson 13 - I can write pretty well. Review Lessons 10-11. Listening and pronunciation: Listen to tracks 30-36. Conversation: Asking for and making comparisons. Active Learning: Do group work activities, watch English in Action video. Pp. 28-32.	Review and read the textbook pp. 24-32. Listen to tracks 30-36. Review notes taken and prints. Do online exercises. Do online homework assignment.	120
5	Lessons 14-15	Lesson 14 - I'd have to have "healthy lunches." Lesson 15 - I travel for free. Review Lessons 12-13. Listening and pronunciation: Listen to tracks 37-40. Conversation: Describing pros and cons. Active Learning: Do pair and group work activities, watch English in Action video. Pp. 34-37, 40.	Review and read the textbook pp. 28-37. Listen to tracks 37-40. Review notes taken and prints. Do online vocabulary activity. Do online homework assignment.	150
6	Lessons 16-17	Lesson 16 - Is the manager there? Lesson 17 - That sounds fun! Review Lessons 14-15. Listening and pronunciation: Listen to tracks 41-44, and tracks 1-3 (from audio set No. 2). Conversation: Asking about jobs and free time activities. Active Learning: Do pair work and group presentations, watch English in Action video. Pp. 38-43.	Review and read the textbook pp. 34-43. Listen to tracks 41-44, and 1-3 (audio set No. 2). Review notes taken and prints. Do online exercises. Do online homework assignment.	120
7	Lessons 18-19	Lesson 18 - I'd love to go. Lesson 19 - I'm sorry, but I can't. Review Lessons 17-18. Listening and pronunciation: Listen to tracks 4-8. Conversation: Responding to invitations and giving excuses. Active Learning: Do group work with discussions, watch English in Action video. Pp. 40-45, 50.	Review and read the textbook pp. 38-47. Listen to tracks 4-8. Review notes taken and prints. Do online vocabulary and worksheets. Do online homework assignment.	150
8	Lessons 20-21 and Review for Mini-Test	Lesson 20 - Sorry, I'm late. Lesson 21 - Did you go alone? Review Lessons 18-19. Listening and pronunciation. Listen to tracks 9-14. Conversation: Responding to an apology and describing past events. Active Learning: Do pair work using apologies, watch interactive video about past activities. Pp. 48-53, 60. Review for the Mini-Test.	Review the textbook. Read through pp. 48-53. Listen to tracks 9-14. Do online assignment. Review and study hard for the Mini-Test.	180
9	Lessons 22-23 and Mini-Test	Lesson 22 - Which do you prefer? Lesson 23 - You must get a visa. Take the first quiz. Review Lessons 20-21. Listening and pronunciation. Listen to tracks 15-19. Conversation: Asking about preferences, obligations and prohibitions. Active Learning: Have discussions in groups about cultural obligations, watch English in Action video. Pp. 54-57, 60. Take the Mini-Test today.	Review the textbook. Read through pages 48-57. Listen to tracks 15-19. Do online vocabulary worksheet. Do online assignment. Study hard for the Mini-Test.	120
10	Lessons 24-25	Lesson 24 - When is the next train? Lesson 25 - I usually wear ... Review Lessons 22-23. Listening and pronunciation. Listen to tracks 20-24. Conversation: Describing prices and schedules, and describing articles of clothing. Active Learning: Pair work and group work to describe individual clothing. Have discussions in groups about individual current trends in clothing and accessories, and watch English in Action video. Pp. 58-63, 70.	Review the textbook. Read through pages 54-63. Listen to tracks 20-24. Do online exercises. Do online assignment.	120
11	Lessons 26-27	Lesson 26 - What do you think? Lesson 27 - Can you do me a favor? Review lessons 23-24. Listening and pronunciation: Listen to tracks 25-29. Conversation: Asking for and offering ideas. Active Learning: Pair work to make requests and commands, and watch English in Action video. Pp. 64-67, 70.	Review the textbook. Read through pp. 58-67, 70. Listen to tracks 25-29. Do online vocabulary activities. Do online assignment.	150

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	Lessons 28-29	Lesson 28 - What is it used for? Lesson 29 - I think it's fun! Review lessons 26-27. Listening and pronunciation: Listen to tracks 30-33. Conversation: Asking how to use things and giving opinions. Active Learning: Discussions in groups about current events and news followed by presentations. Watch English in Action video. Pp. 68-73, 80.	Review for the Final Test. Read through pp. 64-73, 80. Listen to all previous audio tracks. Do online practice for lessons 28-29. Do online assignment.	150
13	Lessons 30-31	Lesson 30 - I feel the same way. Lesson 31 - What would you do? Review lessons 28-29. Listening and pronunciation: Listen to tracks 34-39. Conversation: Asking about and discussing imaginary situations. Active Learning: Discussions in groups about possible future situations and technology followed by presentations. Watch English in Action video. Pp. 74-77, 80.	Review for the Final Test. Read through pp. 74-77. Listen to all previous audio tracks. Do online practice for lessons 30-31. Do online assignment.	120
14	Lesson 32 and Final Test Review	Lessons 32 - Then what happened? Review lessons 1-32 for the Final Test. Listening and pronunciation: Listen to tracks 40-42 and all tracks pertaining to the test. Conversation: Describing a sequence of events that happened. Active Learning: Pair work to find out how each other feels about foods, events, places, etc. Watch English in Action video. Pp. 78-80 and pp. 22-80 for Final Test review.	Do a comprehensive review for the Final Test. Read through pp. 22-80 again. Listen to all previous audio tracks. Do online practice for lesson 32. Do online assignment. STUDY VERY HARD FOR THE FINAL TEST!	240
15	Lesson 32, Final Test and Review	Complete lesson 32. Do a comprehensive review of the coursework including the textbook pp. 22-80, all audio files, prints, and notes to review for the Final Test. Take the Final Test today. (Final Test is a cumulative test and covers all previous coursework and materials.)	Reflect on the course, organize and file all coursework for future reference, and use the English learned to enhance your future life in areas of work, family and leisure. Study very hard for the Final Test prior to today, because the final test is today. (Since the Final Test is today, there is no test during the regular testing period.)	120

授業名	専門英語（生活）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐藤 久美			
開講期	前期			
授業の概要	日常生活における基礎的な英語コミュニケーション能力の習得を目指す。特定の場面を想定した日常英会話のリスニング、およびロールプレイングによるスピーキングの練習を行う。また、福祉・教育現場で想定される会話例や建築に関する簡単なニュースを英語で読み、実用的な語彙とリーディングスキルの強化を図る。学期後半は、ショートプレゼンテーション（3～5分）の準備を通して、基礎的なライティングスキルを身につける。プレゼンテーションの発表原稿は添削・返却し、コメント等によるフィードバックを行う。			
授業の到達目標	1. 基礎的な英会話表現を理解し、簡単なフレーズを使って応答することができる。 2. 福祉・教育現場で想定される会話例や建築に関する簡単なニュースを英語で読むことができる。 3. 基本的な文法を理解し、簡単な文章を英語で書くことができる。 単位認定の最低基準は、上記内容の7割程度習得していること。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	小テスト（20％）、ショートプレゼンテーション（50％） 受講姿勢（30％）	
テキスト	エリー・オー（2020） 絵で覚える英会話 基礎編. 文響社.			
参考書	医療・福祉英語検定協会 教材委員会（2017） 英語で福祉を学ぼう. 医療・福祉英語検定協会.			
学生への要望	日常生活における基礎的な英語の“練習”を目的としています。難しい英語は使いませんので、安心して授業に臨んでください。発音や文法を過度に意識せず、積極的に発話してください。			
位置付け・水準	GU1301			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、総合的な学習経験・創造的思考力			
オフィスタイム	毎週水曜 9：00～12：30、No.7研究室、それ以外はkumi.sato@koryama-kgc.ac.jpにメールして日時を設定			
アクティブラーニング実施内容	ロールプレイングによるスピーキングの練習、ショートプレゼンテーション他			
実務家教員の経歴	実務経歴なし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	・オリエンテーション ・ Ordering coffee at a café	・ 授業計画や成績評価方法、オフィスタイム等の確認 ・ 英語の知識量とコミュニケーション力の違い ・ カフェでの英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
2	・ "From bed to wheelchair" ・ Having brunch at a restaurant	・ リーディングにおける想像力の重要性 ・ 「ベッドから車椅子への移動」リーディング ・ レストラン（ランチ）での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
3	・ "Meeting a client's request" ・ Buying icecream	・ 「利用者からの要求に応える」リーディング ・ アイスクリーム店での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
4	・ "Visiting a sheltered workshop" ・ Riding a bus	・ 「障害者支援施設への訪問」リーディング ・ バス乗車場面での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
5	・ "Visiting a children's home"	・ 「乳児院への訪問」リーディング ・ サンドイッチ店での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
6	・ "Visiting a group home for troubled youth" ・ Buying clothes	・ 「児童自立支援施設への訪問」リーディング ・ アパレルストアでの英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
7	・ "Making curry and onigiri" ・ Buying shoes at a shoe store	・ 「おにぎりカレーの作り方（家庭科）」リーディング ・ 靴屋での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
8	・ "Evacuation drills" ・ Buying cosmetics	・ 「避難訓練」リーディング ・ コスメストアでの英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
9	・ "The world's longest pedestrian suspension bridge" ・ Dinner at a restaurant	・ 「世界最長の歩行者用つり橋」リーディング ・ レストラン（ディナー）での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	・ "High school in a department store ・ Using a train	・ 「デパートを臨時の学校に」リーディング ・ 電車利用場面での英会話練習	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。 プレゼンテーションの題材について考える。	30
11	・ Visiting a museum	・ 博物館での英会話練習 ・ プレゼンテーションの準備	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
12	・ Getting medicine	・ ドラッグストアでの英会話練習 ・ プレゼンテーションの準備	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
13	・ Checking-in to a hotel	・ ホテルでの英会話練習 ・ プレゼンテーションの準備	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
14	・ Checking-in at the airport	・ 空港での英会話練習 ・ プレゼンテーションの準備	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。	30
15	・ Getting through immigration	・ 入国審査場面での英会話練習 ・ プレゼンテーションの準備	小テストに向けて英会話フレーズを復習する。 プレゼンテーションの練習をする。	60

授業名	専門英語（栄養）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択	
担当教員名	◎ダニエル　ホーナー			
開講期				
授業の概要	Outline of 専門英語(栄養) / Professional English (for Nutrition and Dietetics) for 2024-25: 1. Be an active learner who participates in pair work, group work, discussions and presentations. 2. Explore, define and describe career and goals. 3. Explore a diverse number of areas of nutrition and dietetics using English. 4. Learn terminology and technologies that facilitate professionals in your chosen career(s). 5. Take a final written examination to evaluate personal careers and career objectives. 6. Active learning is substantially utilized in every lesson! FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.			
授業の到達目標	Achievement Goals: ① You should be able to give a detailed information about career choice and goals. ② Read and discuss professional articles specific to your future profession. ③ Achieve a deep understanding of your future goals and career in the context of the 4 English skills. ④ The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, actively learning, homework, and tests. ⑤ Language acquisition is best achieved with the goals of active learning and active participation.			
履修条件	大学全生3年生。 対象となる学生は、家政学部食物栄養学科。	成績の 評価方法・基準	1. Attitude, Actively Learning (10%) 2. Mini-Test, Homework (40%) 3. Final Written Test (50%)	
テキスト	Textbook Title: "Simply Nutrition" Authors: Peter Vincent, Kiyoshi Gotow, Ph.D., & Naoko Nakazato Publisher: NANUN-DO ISBN: 978 - 452 - 31776 - 16 (This textbook includes a CD.)			
参考書	Prints and coursework materials made by the instructor, Daniel O. Horner.			
学生への要望	1. Please attend all classes and be active learners during every class. 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. 3. Always do all of the homework, coursework and listen to the CD. 4. Some of the terminology for dietetics is difficult, so do your best to deeply understand it. 5. Study hard for the tests.			
位置付け・水準	位置付け・水準（ナンバリング）はGU1302です。			
ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."			
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!			
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions and dialogue practice, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.			
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. (このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で 19 年間英語の教員として勤務しました。)			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Orientation and Unit 1 - Nutrition for Good Health	Introduction to this subject. Explain the course, goals and testing process to the students. Active Learning: Students share in groups their career goals and expectations. Do Unit 1 - Nutrition for Good Health, pp. 6-9, CD Tracks 1-3.	Preparation for the lesson. Read textbook Unit 1. Do the Unit 1 listening activities.	180
2	Unit 2 - Carbohydrates	Do Unit 2 pp. 10-13, CD Tracks 4-5. Describe potential future careers including advantages and disadvantages. Use an online article titled "Professional Career Terminology" to provide in-depth information on terminology used in careers. Active Learning: Students interview each other about their future careers including advantages and descriptions of chosen careers.	Review Unit 2 by studying it and repeating the listening activities. Read the online article. Prepare for the next lesson by prereading Unit 3.	120
3	Unit 3 - Fats and Proteins	Do Unit 3, pp. 14-17, CD Tracks 6-7. Students learn about saturated and trans fats. Students take an online survey to determine specific careers within the realm of dietetics that suit their interests and skills, and share the results. Active Learning: In small groups, give presentations on the results of the survey.	Review Unit 3 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 4.	90
4	Unit 4 - Vitamins and Minerals	Do Unit 4, pp. 18-21, CD Tracks 8-9. Students learn the names and functions of essential vitamins and minerals. For professional development (PD), students will research areas of The Japan Dietetic Association (JDA) including its continuous education system which improves the ability of registered dietitians and dietitians and its professional career development through basic and advanced education. Active Learning: Group discussions about the JDA homepage, https://www.dietitian.or.jp/english/ , and how it pertains to their specific career goals.	Review Unit 4 by studying it and repeating the listening activities. And review the main components of the IDA website regularly. Prepare for the next lesson by prereading Unit 5.	120
5	Unit 5 - The Importance of Balance	Do Unit 5, pp.22-25, CD Tracks 10-11. Explore the various ways that dietitians promote healthy eating in society, including eating well-balanced meals with staple foods, main dishes and side dishes, combining various foods, cooking meals in various ways, and combining home-made meals well with eating out, and eating processed and prepared foods. Active Learning: Through pair work, students share the current methods they personally use to promote balanced healthy eating in their personal life and families.	Review Unit 5 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 6.	120
6	Unit 6 - Diets for Different Needs	Unit 6, pp. 26-29, CD Tracks 12-13. Students state their background knowledge on diets for different needs. Then they discuss the contemporary problems facing society as a whole in regards to unhealthy eating habits. Active Learning: In small groups, students share personal information and societal information about diets for different needs; and have a discussion in pairs about junk food.	Review Unit 6 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 7. Make a list of the worst junk foods in the USA and Japan.	90
7	Unit 7 - The Dangers of an Unbalanced Diet	Unit 7, pp. 30-33, CD Tracks 14-15. Students explore 2 specific areas of an unbalanced diet: overconsumption and too few nutrients. Students also research the "Dietitians' Code of Ethics": Nutrition and dietetics practitioners have a code of ethics in the USA. This code has the values and ethical principles guiding the nutrition and dietetics profession. It also sets forth commitments and obligations of the practitioner to the public, clients, the profession, colleagues and other professionals. Active Learning: Through group discussions, students will compare Japan's code of ethics to America's.	Review Unit 7 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 8. Research more about the "Dietitians' Code of Ethics" in the USA. Study and prepare for the Mini-Test.	150

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	Unit 8 - Managing Body Weight. Take the Mini-Test.	Unit 8 - Managing Body Weight, pp. 34-37, CD Tracks 16-17. Explore the 2 main reasons why more and more Japanese children are in danger of becoming obese. Students view videos and pictures showing typical meals in the USA. Then they state their opinions about the meals. Active Learning: In small groups, students discuss the reasons why obesity rates are increasing in Japan. Students take the Mini-Test today.	Review Unit 8 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 9. Research data about the obesity rates in the USA including which states have the highest obesity rates.	120
9	Unit 9 - Our Food Choices	Unit 9, pp. 38-41, CD Tracks 18-19. Students learn about the different reasons we have appetites. Students read about how advertising and marketing affect what we buy and eat. Active Learning: Students discuss the reasons why people go on diets, and some of the major struggles they face.	Review Unit 9 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 10. Write about the main factors for losing weight pertained to on p. 39.	90
10	Unit 10 - Eating Disorders	Unit 10, pp. 42-45, CD Tracks 20-21. Learn about eating disorders, and why people with eating disorders have unhealthy eating habits. Students list the top 5 eating disorders in Japan and the USA. Active learning: Students discuss in groups the prevalence of eating disorders in 5 major countries in the world.	Review Unit 10 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 11. Write about the most common eating disorders in Japan.	120
11	Unit 11 - Foods that Can Make You Sick	Unit 11, pp. 46-49, CD tracks 22-23. Students share their background knowledge about foods that can make people sick. Students read about food intolerance, food allergies and food poisoning on p. 47. Students learn about digestion related problems such as diarrhea. Active Learning: In pairs, students share experiences they have had with bad or contaminated food.	Review Unit 11 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 12. Write about the most disgusting food they have ever eaten.	120
12	Unit 12 - Safe Food Preparation	Unit 12, pp. 50-53, CD Tracks 24-25. Students learn about the numerous precautions needed for the safe preparation of food at home and at work (i.e., hospital, restaurant, school, etc.). Students will research the inspection process of maintaining sanitary kitchens in the USA and Japan. Active Learning: Give presentations in small groups on the areas that inspectors focus on when checking kitchens where dietitians work.	Review Unit 12 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 13. Watch a video on the work of food inspectors.	90
13	Unit 13 - Water and Other Drinks	Unit 13, pp. 54-57, CD Tracks 26-27. Students learn about why the body needs large amounts of water for the elimination of wastes and to avoid dehydration. Active Learning: Students do a pair activity to share the amounts of water in various kinds of foods.	Review Unit 13 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 14. Review for the final test.	120
14	Unit 14 - The Changing Japanese Diet	Unit 14, pp. 58-61, CD Tracks 28-29. Students describe both the traditional Japanese diet and the contemporary one. Students learn how globalization and social change have changed diets in Japan and all over the world. Students will brainstorm ideas and use online resources to "paint a picture" of the world of dietetics and nutrition in the future. Active Learning: Through group work and presentations, students will research the future of dietetics and report the results and their own predictions to class.	Review Unit 14 by studying it and repeating the listening activities. Prepare for the next lesson by prereading Unit 15. Review for the final test.	180

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	Unit 15 - The Work of a Dietitian. Review for Final Test. Take Final Test.	Unit 15, pp. 62-65, CD Tracks 30-31. Students explore the various work environments that dietitians work in, including specialized professions, and the terminology that dietitians use daily. Read from essays including one titled, "Lessons from my first year as a dietitian." This essay and similar ones will give students some real-life "confessions" of dietitians so they know what to expect when embarking on a career in this profession. Active Learning: Students seek answers to specific questions they have about their chosen careers by learning from the testimonials of real dietetic professionals. Review for the Final Test. Take the Final Test. The Final Test is today, so there is no test during the regular testing period.	Study, prepare and review extensively for the Final Test prior to this date. Final Test is taken during today's 15th lesson, so there is no test during the regular testing period.	240

授業名	英会話	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択
担当教員名	◎ダニエル ホーナー		
開講期			
授業の概要	英会話 / English Conversation Outline: A. Students express various information about themselves in active learning environments. B. Describe characteristics and personalities of others through active learning. C. Talk about your family and their profiles in active learning group presentations. D. Communicate comprehensively in English with confidence by expressing yourself fluently and accurately through various real-life settings. E. Take a comprehensive written examination. F. Active learning is substantially utilized in every lesson! FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.		
授業の到達目標	Achievement Goals: 1. Every lesson includes several speaking tasks that allow students to maximize their use of new vocabulary and boost their conversational ability through structured dialogues. 2. Students will use these skills in active learning situations to speak with confidence about themselves and a range of topics to reach the achievement goal of mastery level of these topics. 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, actively learning, homework, and tests. 4. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Collaboration with Others" and "Human Development." 5. Language acquisition is best achieved with the goals of active learning and active participation.		
履修条件	大学全3年生	成績の 評価方法・基準	Attitude and Actively Learning - 10% Mini-Test and Homework - 40% Final Cumulative Written Test - 50%
テキスト	(There is probably no textbook fo this class.) You don't have to buy a textbook for this class. But if you already have "Impact CONVERSATION 1" and especially "Speak NOW 2", we can use these two textbooks sometimes for this subject.		
参考書	Prints and reference materials produced by the instructor.		
学生への要望	1. Be active learners of English conversation. 2. "Failure teaches success," so don't be afraid to make mistakes. 3. Join every lesson and complete all homework assignments. 4. For each hour of lecture, you need 2 hours of preparation and review on your own. 5. Study very hard for the two tests.		
位置付け・水準	位置付け・水準 (ナンバリング)はGU1303です。		
ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."		
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!		
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.		
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. (このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で 19 年間英語の教員として勤務しました。)		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to this subject, "English Conversation," Unit 1 - Hobbies and Personal Interests	Guidance about the textbook, tests, quiz, homework, attendance, and grading criteria. Unit 1 - Hobbies and Personal Interests. Active Learning: Interview classmates to ascertain information about them, including hobbies and personal preferences.	Review class information. Memorize dialogues on personal interests.	150
2	Unit 2 - Presentation on Pastimes	Students read about the pastimes of several people, write paragraphs about their own hobbies, and then share their information in small groups. Active Learning: Students actively participate in dialogues about hobbies, and students give presentations in small groups about hobbies they would like to try in the future.	Review the key phrases learned today. Prepare for the next unit on different ways of commuting.	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	Unit 3 - Getting Around	Students will learn phrases related to different modes of transportation, and compare the costs of these different forms of transportation. Active Learning: Students will research an interesting or unique form of transportation, present the information to the class, and answer questions about their presentation.	Review Unit 3. Prepare for Unit 4.	120
4	Unit 4 - Personalities	Students will learn various words and phrases to describe personalities, make inferences from clues given about personalities, and describe personalities of friends and families. Active Learning: Describe in detail 3 people you admire in small groups.	Review and Preparation	120
5	Unit 5 - Cooking and Favorite Foods	Students will use imperatives and sequence markers to show the steps in the process of making their favorite dishes. Students will learn about cultural differences in cuisine between the USA and Japan. Active Learning: Use large pictures to explain a recipe in a group.	Review	120
6	Unit 6 - Climate Change	Research on extreme weather around the world will be conducted. Then students will choose one area of the research and make a short presentation about it. Active Learning: Share cultural information in pairs about ways of staying cool in the summer. Additional Active Learning: Share information ascertained about climate change/extreme weather to the class.	Review all previous materials to prepare for the practice quiz.	150
7	Unit 7 - I have a sore throat.	Students will listen for health problems and ask for advice pertaining to common ailments. Active Learning: Divide the class in half and have one-half describe health problems while the other half makes suggestions. Review for the Mini-Test.	Study hard for the Mini-Test.	220
8	Unit 8 - Healthy Living, Mini-Test	Learn useful phrases to keep healthy and fit in the your daily life. Give and receive advice about how to improve your daily life. Active Learning: Choose a situation of your choice, e.g., "I want to lose weight," "I want to have less stress in my daily life," "I want to decrease my use of social media," etc. Then in pairs, listen to the situations and give advice about each by suggesting things that should and shouldn't be done. Students take the Mini-Test today. (The Mini-Test is a midterm test.)	Study very hard for the Mini-Test.	220
9	Unit 9 - I'd love to go!	Learn key phrases used when inviting someone to a social gathering, declining invitations, and giving excuses for not joining the social activities. Active Learning: Read advertisements about 4 social activities and invite 3 people to the activities.	Review and Preparation	150
10	Unit 10 - Recent Activities	Students learn how to clearly express what they have been doing lately. For culture, compare and contrast common activities done by friends in the USA and in Japan. Active Learning: Give a balanced view about a recent activity by presenting the positive and negative aspects of the activity to the class.	Review	150
11	Unit 11 - Customs and Faux Pas	Learn about various customs and cultural faux pas around the world, e.g., using titles, bowing, tipping, giving gifts, making small talk, etc. Choose a specific country and conduct research about common customs in that country. Active Learning: Present your research findings in small groups about the country of your choice.	Preparation	120
12	Unit 12 - Skills and Professions	Learn key phrases to express the skills you possess. Listen to a dialogue to learn what skills an interviewer asks the candidate about. Active Learning: Persuade members in a small group why you have the appropriate skills and would be good at a specific career.	Review and Preparation	150

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	Unit 13 - Future Activities	Learn phrases to express plans and activities for the immediate future, repeat and express probabilities, and predict future breakthroughs in technology. Students will write a timeline of personal predictions for their own lives for the next 70 years in increments of 5 years. Active Learning: In small groups, discuss some of the major and minor problems facing the world today and brainstorm ways to solve the problems.	Review	120
14	Unit 14 - Good vs. Bad Habits, Review for Final Test	Learn phrases to describe daily and regular habits. Determine which habits are good for a healthy and happy lifestyle, and which habits are bad for their lives. Take a poll of how long students are on the Internet every day and then ascertain if that amount of time affects their lives in negative ways. Active Learning: Students will create a chart showing 3 habits they want to change and then make a final presentation in small groups telling about the habits they hope to change. Do a comprehensive review to prepare for the Final Test.	Review and Preparation for Final Test	240
15	Unit 15 - Favors and Requests, Review for Final Test, Take the Final Test	Students will learn the correct ways to ask others for help and favors. Active Learning: Students create dialogues in pairs to ask each other for 3 different favors or requests. Do a comprehensive review for the final cumulative written test. Take the Final Test today. (Since the Final Test is today, there is no test during the regular testing period.)	Prepare for the Final Test prior to today by doing a comprehensive review of the entire coursework. The Final Test is today!	240

授業名	運動健康論（生活科学科）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GU1119 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。 ⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける。レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
履修条件	家政学部 人間生活学科　生活総合コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科　福祉コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科　建築デザインコース 1年 2単位 選択 選択家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択 ※教職課程履修者は必修	成績の 評価方法・基準	平常点30点（取組姿勢）　試験・提出物70点（実技・レポート） ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。	
テキスト	特になし（必要に応じて資料等を配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）			
位置付け・水準	GU1119			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室 佐藤			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
3	縄跳び②／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
5	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
7	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
8	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
11	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
12	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	《まとめとして実技試験を行う》 ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	《健康とは何か》 健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
18	第18回 生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》 ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。 ②運動・休養と健康について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わるができるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や、普段の行動にも通じるものがあります。 ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	《メンタルトレーニング》 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	《目標設定》 スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	《体力とは》 ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。 ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	《エクササイズの方法について 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	《からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法》 ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	《ライフスタイルについて》 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	《良い習慣について》 行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。 ※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

授業名	情報処理演習	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員名	◎山口 猛 佐々木 達矢		
開講期			
授業の概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成・表計算について学習する。 フィードバックとして、未提出物がある場合や自学自習欄の提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。		
授業の到達目標	本演習における達成目標は次の通りとする。 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること		
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	達成目標の到達度合いは提出物・課題により評価する。内容毎に課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は提出物を１５％、課題１を１５％、課題２を３５％、課題３を３５％とする。
テキスト	イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル Office 365・Office 2021対応、noa出版（2022）		
参考書	なし。		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。		
位置付け・水準	GU1120		
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」		
オフィスタイム	月曜1限・月曜3限 芸術館2階No.3地域創成学科研究室		
アクティブラーニング実施内容	授業全体を通してパソコン操作を含むアクティブラーニングを実施		
実務家教員の経歴	システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務 システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算についての授業を行う。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえ、インターネットを利用するためのセキュリティについて触れる。	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Emailのアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。 メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。 またEmailを利用するためのセキュリティについて学ぶ。 ローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmailを用いてWeb上のメールの用法も理解する。	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCCの違いをまとめること。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	課題1	インターネット（ブラウザ・メールなど）の用法について、正しく利用できるか確認をする。 また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/download/	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味の理解とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。	復習として、日本語変換の方法を再確認し、教科書の練習6を行ってみること。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト1・確認テスト2を実施すること。 提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成して試みる。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.141までを読んでおくこと。このほか提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。	30

授業名	キャリアデザインⅠ（生活科学科）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎大泉 由美			
開講期				
授業の概要	本学のキャリア教育は「自己を見つめて未来を描き、学修を主体的に行い在学期間を有意義に過ごし、将来の夢に向けて前進する」ということを目標としています。テキストに基づき授業を進めますが、テキストは「つくる力」と「かかわる力」の二項目で構成されており、「つくる力」は創造力・論理的思考力・表現力を、「かかわる力」は主体的行動力・コミュニケーション能力の向上を指します。これらの力を一層高め、各自が描くキャリアデザイン実現のために、様々な観点から学修します。 □最終授業で全体に対するフィードバックを行います。最終授業終了後、それまでの提出物を添付した状態のテキストを提出し、担当教員が確認した後に、後日ノートを返却します。			
授業の到達目標	リアクションペーパーに自分の意見・感想を書いて提出する。レポート提出をする回では、期日までに指定の方法で提出する。リアクションペーパー、レポート、最終授業時のテキスト提出を単位認定の最低基準とする。 ディプロマ・ポリシーとの関係： 課題解決力・主体的行動力			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	課題レポート100%	
テキスト	テキスト『キャリアデザイン』配布(無料)			
参考書	授業中に適宜提示			
学生への要望	学生の皆さんが自分に合った進路を見出し、目的をもって学修することを期待しています。主体的に情報を集め、夢に向かって粘り強く努力をしていきましょう。就職部の就職ガイダンスや各種模擬試験、インターンシップなどに積極的に参加することを勧めます。			
位置付け・水準	GU1121			
ディプロマポリシーとの関係	個の確立、人間形成			
オフィスタイム	月曜日・火曜日 2 限			
アクティブラーニング実施内容	グループワーク、グループディスカッション			
実務家教員の経歴	私立高等学校家庭科教員として勤務			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーションーキャリアデザインの意義と目的	「キャリアデザインⅠ」の意義と目的を説明し、キャリアとは何かを考えます。今の状況を記録するために自己評価票に記入します。	テキストを全体的によく読み今後の授業内容を理解する。「キャリア」「キャリアデザイン」を検索して自分で考えてみる。	60
2	郡山女子大学を知ろうー建学の精神と学園の歴史	郡山市の歴史、建学の精神と学園の歴史を学びます。視聴覚教材はメモをとりながら見て、最後にリアクションペーパーにまとめて書きましょう。	建学の精神や学園の歴史については大学ホームページや『学園史』（図書館蔵）などにも掲載してあるので確認する。テキストの内容も復習する。	60
3	「つくる力」を育てる(1)ー情報を読む力・まとめる力	講義を聞く時の注意事項、講義から情報を読む方法、講義を聞く力を養うためにはどうしたらよいのかを学修します。	テキストpp.12-13に空欄がないように記入する。次回のレポート作成の基本ルールを予習として読んでおく。	60
4	「つくる力」を育てる(2)ー書く力・伝える力の育成	レポート作成の基本的ルールを学び、伝える力を養うため「考えを表現する方法」を学修します。	レポート作成のルールを復習しpp.16-18に空欄がないように記入する。クリティカルシンキングやブレン・ストーミングとは何か検索してみる。次回第5回はパソコンを持参する。	120
5	「つくる力」を育てる(3)ー社会でのパソコン活用マナー	パソコンの活用状況を理解した上で、メール送信のマナー、レポート作成のマナー、レポート課題の提出方法について学修します。	テキストp.19の注意ポイントをよく読みパソコンでレポートを作成する。提出締切は第8回授業日まで。	120
6	「かかわる力」を育てる(1)ーお金から考えるライフプランニング	経済的側面からキャリアデザインを考え、貯金・保険・年金などについて学修します。	貯金や社会保険、年金などについてインターネット検索してみる(ゆうちょ銀行、厚生労働省、日本年金機構など)。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	「かかわる力」を育てる(2)－働くためのルール	労働法とは何か、労働契約の成立や労働条件、ハラスメントや解雇についても学修します。	厚生労働省ホームページを見て「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～」を読む。	60
8	「かかわる力」を育てる(3)－女性のキャリアモデルを知ろう！① 講演	現在、社会で活躍している卒業生がゲストスピーカーとして登壇し、卒業後の歩みについてお話します。	講演メモを読み直し内容を思い出してみる。よくわからなかった単語があれば検索して調べ、次の発表準備をする。	60
9	「かかわる力」を育てる(4)－女性のキャリアモデルを知ろう！② グループ討論	前回ゲストスピーカーの講演メモを基に各自の感想を発表しディスカッションする。その結果をワークシートに記入し指定日までにレポートを作成し提出します。	自分の感想と他の人の感想を踏まえて、レポートをパソコンで作成する。自分で調べた単語の意味などを書いてよい。	120
10	「かかわる力」を育てる(5)－多様な生活とワーク・ライフ・バランス	変化する家族の状況を理解し、様々なライフコースにはそれぞれプラス・マイナスの両側面があり、各自の選択にゆだねられるということを学修します。	厚生労働省のホームページを見て「雇用・労働」について幅広く調べてみる。非正規雇用などの説明も参考になる。	60
11	「かかわる力」を育てる(6)－働き続けるための支援	出産・育児や介護と雇用労働を両立させるための制度を学びます。共働き増加の背景や課題なども考えます。	母性健康管理サイト「妊娠・出産をサポートする女性にやさしい職場づくりナビ」(厚生労働省委託)を見て、クイズ形式で学ぶ。	60
12	「かかわる力」を育てる(7)－「自分」と「社会」との結びつき	PM理論やソーシャルスキルを学び、社会（集団）の中で適応的に「個人」として生きることについて考察します。(hyper-QUテストを実施)	聞き慣れないワードや興味を持ったワード(例えばPM理論、ソーシャルスキル、QUテストなど)を検索して更に深く調べる。	60
13	「かかわる力」を育てる(8)－アサーショントレーニング①爽やかな自己表現	堂々と自分の意見を述べるために必要なアサーションの考え方の基本を学びます。	アサーション、アサーティブな自己表現とは何か検索して他の例も学ぶ。テキストpp.50-51に空欄がないように自分の考えを記載する。	60
14	「かかわる力」を育てる(9)－アサーショントレーニング②責任ある社会人として	職場でのアサーションについて練習問題に取り組み、アサーション技術を磨きます。私は～ですと気持ちを伝える大切さを学びます。(できれば授業評価アンケート実施)	テキストpp.56-57を見て空欄があれば自分の考えを書く。興味をもったワードを検索してみる。	60
15	まとめ－自分のキャリアプランを創ろう！	振り返りをしてから、マンドラチャートを作成し各自が取り組むべき具体的内容を考えます。第1回と同じ「自己評価票」に記入し変化があるかどうか確認します。(前回実施していない場合は授業アンケート実施)	テキストp.5とp.60「自己評価票」を比較して変化の有無、評価の変化などを確認する。最後にpp.63-73もよく読み実行していただくことを勧めます。	60

授業名	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ		配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 2年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科福祉コース 2年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザインコース 2年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 2年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 0.5単位 必修
担当教員名	◎山本 裕詞 近内 直美 阿部 恵利子			
開講期				
授業の概要	芸術は、優れた感性を磨き、豊かな人間性を育てます。教養は、個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を刺激するものです。芸術鑑賞講座として年に4回程度、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。また年に3回程度、深い学問的思索や先端的思考、あるいは最新の科学技術の成果に触れることのできる教養講座を実施します。			
授業の到達目標	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
履修条件	本学の全学生	成績の 評価方法・基準	レポート（各回の感想文）	
テキスト	リーフレット、講演資料			
参考書	各回、図書館で関連図書を展示します。			
学生への要望	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを、国語として正しい文章にまとめましょう。			
位置付け・水準	GU1902 GU1903 GU1904 GC1902			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22(月) 11:00～12:10	学校法人郡山開成学園創立78周年記念式典 教養講座 海野道郎氏（東北大学名誉教授）「環境問題の社会的ジレンマ」	講演で学んだ知識を身近な環境問題に結び付け、感想文を書き、今後の生活に生かしていく。	90
2	第222回芸術鑑賞講座 6/19（水）13:00～14:30	郡山交響楽団「100万回生きたねこ」朗読コンサート 朗読は山崎義也氏（元劇団四季）	童話「100万回生きたねこ」のあらすじなど、作品について理解を深めておく。音楽と融合した時、その物語や音楽はどの様に感じたのかを感想文にまとめる。	90
3	第2回教養講座 7/10（水）13:00～14:30	後藤あや氏（ハーバード大学国際公衆衛生大学院教授） 「題目未定」	公衆衛生とは何か、理解を深め、感想文を書く。	90
4	第223回芸術鑑賞講座 9/17（火）～9/27（金）	「源氏物語/歳暮の衣配り」より等身大装束展（株）井筒企画	光源氏が紫の上ら親しい女性に贈った桂（うちき）など7点の特色を捉え、それぞれの女君の人となり进行想像し、感想文を書く。さらに、生活文化博物館で服飾史を再確認する。	90
5	第224回芸術鑑賞講座 10/8（火）～10/13（日）	もみじ会共催 「棟方志功版画展」（港屋）	民芸の代表的な作家、棟方志功とその木版画作品について理解を深め、感想文を書く。	90
6	第3回教養講座 10/30（水）13:00～14:30	大山采子氏（大山忠作氏長女、俳優） 「大山忠作襖絵展と父・大山忠作を語る」	講演だけでなく、二本松の大山忠作美術館を訪ね、襖絵展を鑑賞した体験も含め、感想文を書く。	180

授業名	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅲ		配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 3年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科福祉コース 3年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザインコース 3年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 3年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 0.5単位 必修
担当教員名	◎安田 純子 廣野 正子 長田 城治			
開講期				
授業の概要	芸術は、優れた感性を磨き、豊かな人間性を育てます。教養は、個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を刺激するものです。芸術鑑賞講座として年に4回程度、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。また年に3回程度、深い学問的思索や先端的思考、あるいは最新の科学技術の成果に触れることのできる教養講座を実施します。			
授業の到達目標	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
履修条件	本学の全学生	成績の 評価方法・基準	レポート（各回の感想文）	
テキスト	リーフレット、講演資料			
参考書	各回、図書館で関連図書を展示します。			
学生への要望	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを、国語として正しい文章にまとめましょう。			
位置付け・水準	GU1902 GU1903 GU1904 GC1902			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22(月) 11:00～12:10	学校法人郡山開成学園創立78周年記念式典 教養講座 海野道郎氏（東北大学名誉教授）「環境問題の社会的ジレンマ」	講演で学んだ知識を身近な環境問題に結び付け、感想文を書き、今後の生活に生かしていく。	90
2	第222回芸術鑑賞講座 6/19（水）13:00～14:30	郡山交響楽団「100万回生きたねこ」朗読コンサート 朗読は山崎義也氏（元劇団四季）	童話「100万回生きたねこ」のあらすじなど、作品について理解を深めておく。音楽と融合した時、その物語や音楽はどの様に感じたのかを感想文にまとめる。	90
3	第2回教養講座 7/10（水）13:00～14:30	後藤あや氏（ハーバード大学国際公衆衛生大学院教授） 「題目未定」	公衆衛生とは何か、理解を深め、感想文を書く。	90
4	第223回芸術鑑賞講座 9/17（火）～9/27（金）	「源氏物語/歳暮の衣配り」より等身大装束展（株）井筒企画	光源氏が紫の上ら親しい女性に贈った桂（うちき）など7点の特色を捉え、それぞれの女君の人となりを想像し、感想文を書く。さらに、生活文化博物館で服飾史を再確認する。	90
5	第224回芸術鑑賞講座 10/8（火）～10/13（日）	もみじ会共催 「棟方志功版画展」（港屋）	民芸の代表的な作家、棟方志功とその木版画作品について理解を深め、感想文を書く。	90
6	第3回教養講座 10/30（水）13:00～14:30	大山采子氏（大山忠作氏長女、俳優） 「大山忠作襖絵展と父・大山忠作を語る」	講演だけでなく、二本松の大山忠作美術館を訪ね、襖絵展を鑑賞した体験も含め、感想文を書く。	180

授業名	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅳ	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 4年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 4年 0.5単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 4年 0.5単位 必修	
担当教員名	◎佐藤 久美 大泉 由美 藤村 励子			
開講期				
授業の概要	芸術は、優れた感性を磨き、豊かな人間性を育てます。教養は、個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を刺激するものです。芸術鑑賞講座として年に4回程度、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。また年に3回程度、深い学問的思索や先端的思考、あるいは最新の科学技術の成果に触れることのできる教養講座を実施します。			
授業の到達目標	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
履修条件	本学の全学生	成績の 評価方法・基準	レポート（各回の感想文）	
テキスト	リーフレット、講演資料			
参考書	各回、図書館で関連図書を展示します。			
学生への要望	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを、国語として正しい文章にまとめましょう。			
位置付け・水準	GU1902 GU1903 GU1904 GC1902			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22(月) 11:00～12:10	学校法人郡山開成学園創立78周年記念式典 教養講座 海野道郎氏（東北大学名誉教授）「環境問題の社会的ジレンマ」	講演で学んだ知識を身近な環境問題に結び付け、感想文を書き、今後の生活に生かしていく。	90
2	第222回芸術鑑賞講座 6/19（水）13:00～14:30	郡山交響楽団「100万回生きたねこ」朗読コンサート 朗読は山崎義也氏（元劇団四季）	童話「100万回生きたねこ」のあらすじなど、作品について理解を深めておく。音楽と融合した時、その物語や音楽はどの様に感じたのかを感想文にまとめる。	90
3	第2回教養講座 7/10（水）13:00～14:30	後藤あや氏（ハーバード大学国際公衆衛生大学院教授） 「題目未定」	公衆衛生とは何か、理解を深め、感想文を書く。	90
4	第223回芸術鑑賞講座 9/17（火）～9/27（金）	「源氏物語/歳暮の衣配り」より等身大装束展（株）井筒企画	光源氏が紫の上ら親しい女性に贈った桂（うちき）など7点の特色を捉え、それぞれの女君の人となりを想像し、感想文を書く。さらに、生活文化博物館で服飾史を再確認する。	90
5	第224回芸術鑑賞講座 10/8（火）～10/13（日）	もみじ会共催 「棟方志功版画展」（港屋）	民芸の代表的な作家、棟方志功とその木版画作品について理解を深め、感想文を書く。	90
6	第3回教養講座 10/30（水）13:00～14:30	大山采子氏（大山忠作氏長女、俳優） 「大山忠作襖絵展と父・大山忠作を語る」	講演だけでなく、二本松の大山忠作美術館を訪ね、襖絵展を鑑賞した体験も含め、感想文を書く。	180